

第七十五回
帝國議會
貴族院

地方稅法案特別委員會議事速記錄第二號

昭和十五年三月十九日(火曜日)午前十時
十一分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、通告者ガアリマスカラ通告者カラ質疑ヲ御許シ致シマス、柴田君

○柴田兵一(郎君) デハ私カラ政府ニ御尋ネ

致シマス、中央地方ヲ通ズル負擔ノ不均衡

ヲ是正シ地方團體財政ノ基礎ヲ確立スルコ

ト、即チ地方稅制改革ノ必要ハ夙ニ朝野ノ

間ニ唱ヘラレ、內務省ニ於テモ昭和七年ノ

初メ地方財政調整交付金制度ヲ考慮セラ

レ、爾來度々同法案ガ議會ニ提出サレマシ

タケレドモ、或ハ政變ノ爲御流レトナリ、

或ハ審議未了等ノ爲立法化セラレナカッタ

ノデアリマスルガ、昭和十一年御承知ノ通

リ廣田內閣ノ出現ニ依リ、所謂馬場案ナル

モノガ出來マシテ、恆久の地方財政調整制

度ノ獨立ヲ見ムトシテ、是亦內閣ノ更迭ニ

依リ遺憾ナガラ實現スルニ至ラナカッタノ

デアリマスルガ、昭和十二年ニ至リ漸ク是

ガ具體化シ、臨時地方財政補給金一億圓ハ

兩院ノ協賛ヲ經テ、內務省令ノ臨時地方財

政補給金規則及交付法ニ基キ之ヲ地方團體

ニ交付シ爾來引續キ今日ニ至ッテ居リマス

ルガ、併シ時勢ノ進運地方財政累年ノ逼迫

ニ依リマシテ、本制度ノ根本的恆久化ハ最

早喫緊ノ要事トナリツ、アルノ時ニ、現政

府ハ組閣勿々ナルニ拘ラズ銳意是ガ成案ヲ

急ギ本會議ニ御提出ニナリマシタ、其ノ革

新的決意、其ノ御努力ニ對シテハ私共ハ深

日來內務大臣及政府委員ヨリ本案ノ大體ノ御説明ヲ承リマシタガ、何分ニモ今回ノ地方稅改革案ハ實ニ廣汎ニ互リ全ク劃期的、歷史的大改革デアリマシテ、從ッテ其ノ内容ニ付テ御尋ネシタイ點ハ多々アルノデアリマスルガ、先ヅ第一ニ今回ノ稅制ノ中樞ヲ成ス分與稅制度ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、抑、分與稅トハ本來地方團體ニ歸屬スベキ筈ノ地方稅ヲ其ノ團體ニ直接課稅セズ一旦國家ガ徵收シ、然ル後一定ノ標準ニ依ッテ地方團體ニ分與スル稅デアッテ、其ノ長所トスル所ハ第一ニ中央地方ヲ通ジテ負擔ノ均衡ヲ得ルコト、第二ハ稅制ノ簡易化サレルコト、第三ハ地方團體ノ財政事情ニ即應シタル財源ノ供與ト云フ點ニアルト思ハレルノデアリマスルガ、併シナガラ私ハ惟フニ本制度實施ノ曉ニハ地方團體ガ稅收入ガ固定化シ、其ノ財政ニ自主的彈力性ガナクナルノデハナイカ、ソレカラ市町村民ガ地方自治ニ對スル愛著心ガ薄ラギ、我が國自治本來ノ精神ニ遠ザカッテ來ルノデハナイカ、尙稅率ノ均一化ハ必ズシモ地域的ニ負擔ノ均衡ヲ得ルモノデハナイト思ハレルノデアリマシテ、前ニ申述ベマシタ長所ハ果シテ是等ノ缺點ヲ「カバー」シテ餘リアルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ、以上ノ點ニ付テ政府當局ノ詳細ナル御處見ヲ承リタイト思ヒマス、尙御序ニ外國ノ例等モ御示シ下サレバ結構ト存ジマス

○政府委員(扶間茂君) 只今ノ御尋ノ二三ノ點ニ付御答申上ゲマス、今回分與稅制度ヲ設ケマシタノハ、地方自治體ノ財政ガ、現行稅制度ノ下ニ於キマシテハ、地域的ニ非常ニ不均衡デアルト云フコトハ正スルコトガ絕對ニ困難デアリマス關係上、從來ノ稅制ト異リマシタ別箇ノ稅制制度ニ致サナケレバナナイ必要ニ迫ラレマシテ、此ノ制度ヲ樹テタノデアリマス、併シナガラ此ノ分與稅制度ノ目的ト致シマス所ハ、地方ノ財政事情ニ應ジタ財源ヲ各地方團體ニ與ヘルコトニ依リマシテ、從來動トモスレバ貧弱ナル團體ガ自治機能ヲ十分發揮スルコトヲ得ナカッタノデ、十分ニ活動ノ能力ヲ與ヘルト云フコトヲ目的ト致シテ居ルノデアリマシテ、從ッテ分與稅制度ハ地方自治ヲ振興セシメルト云フコトヲ、最モ其ノ主眼ト致シテ居ルノデアリマス、唯其ノ方法手段ニ於キマシテハ、一度國家ガ地方稅タル部分ヲ徵收致シマス關係上、ソコニ國家の力ガ加ルノデアリマスルガ、是ハ決シテ中央集權的ノ意味ヲ持ッテ居ルノデハナイ譯デアリマシテ、目的トシマスル所ハ、地方自治ノ振興ヲ、財政的見地ニ於テ十分發揮セシムルコトヲ目標ト致シテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ御尋ニナッテ居リマス第一ノ點ノ財政ノ固定化ト云フコトデアリマスガ、是分與稅制度ニ依リマスル稅源ハ、地方稅總體カラ見マスト、大體三割三分デアリマシテ、財源ノ謂ハバ下積トナル基礎的ノ財政ノ基ヲ作ルト云フコトニナル譯デアリマシテ、六割六分強ハ獨立ノ財源ニナッテ居ル譯デアリ

マス、尙此ノ分與稅自身モ、所得稅法人稅等ノ増減ニ從ヒマシテ動キマスノデ、地方財政ノ固定化ト云フ心配ハナイト思ヒマス、獨立財源ニ付キマシテハ、稅種ノ選擇、稅率ノ盛リ方ト云フコトハ、各地方團體ノ自由ニナッテ居リマスノデ、十分地方財政ノ時勢ニ伴フ動キト云フモノハ、此ノ稅制ノ下ニモ保持サレテ居ルコトと思フノデアリマス、第二ノ彈力性ガ失ハレハシナイカト云フコトデゴザイマスガ、是亦十分彈力性ハ今回ノ稅制ニ盛ッテ居ルノデアリマシテ、即チ地租家屋稅營業稅等ニ伸縮性ヲ認メマシタ點、又分與稅ニ於ケル所得稅法人稅等ガ強力ナル稅デアリマスノデ、其ノ伸張力ニ依リマシテ地方財政ノ彈力性ハ十分保持シ、此ノ兩者ニ依ッテ保持出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、又前段申上ゲマシタヤウナ關係デゴザイマスノデ此ノ財政計畫ノ下ニ出來マシタ稅制ニ依ッテ、地方自治ニ對スル關心ハ獨立財源モ十分認メテゴザイマスカラ、一般自治體住民ノ自治ニ關スル關心ガ減殺スルト云フコトハナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙外國ノ例等ニ付キマシテハ、全ク此ノ制度ト同ジモノデハゴザイマセスケレドモ、「アメリカ」其ノ他ノ國ニ於キマシテモ交付金ノ制度ヲ認メマシテ、地方財政ノ調整ヲ圖ル手段ヲ講ジテ居ル實例ガアルノデゴザイマス

○柴田兵一(郎君) 只今政府委員ヨリ御説明ヲ承リマシテ、大體了解致シマシタガ、外國ニ於テハ分與稅制度ナルモノハマダ行ハ

レテ居ラナイデセウカ

○政府委員(狹間茂君) 今回計畫致シマシタト同様ノ制度ハ立テタモノハナイト思ヒマスガ、此ノ觀念ヲ同ジウ致シテ居リマス制度ハ、外國ニモ既ニ實行シテ居ル國ガアルノデアリマス

○柴田兵一郎君 次ニ私ハ分與稅ナル名稱ニ付テ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス、申ス迄モナク稅ハ通俗的ニ申セバ、本來御上ニ納メル年貢ヲ意味スルモノト思フノデアリマスガ、然ルニ今回ハ一旦國家ガ地租、營業稅、家屋稅トシテ徵收シタモノヲ、更ニ地方自治團體ニ分與ヲシテ交付スルト云フノデアリマスカラ、最早國稅トシテ納稅ニナリマシタ後ハ、稅ノ本質ヲ喪失シタルモノト見做スベキモノデアリマシテ、從テ分與スル稅、與ヘル稅ト云フコトハ、我ガ國古來ヨリノ社會通念ヨリ、適當デナイヤウニ思ハレルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○政府委員(狹間茂君) 此ノ分與稅ト云フ名稱ニ付キマシテハ、色々考ヘ方ガアルノデアリマスガ、吾々ノ所デモ議論ヲ致シマシタ結果、斯ウ云フ名稱ヲ用ヒタモノデアリマシテ、此ノ分與稅ハ稅ノ賦課徵收ノ形態ニ於キマシテハ、從前ノ稅ノ觀念ト多少相違ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、其ノ本質ニ於キマシテ稅デアルト云フコトニ付テハ、別段相違ハナイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、マア見方ヲ變ヘマスト獨立稅、又附加稅ト云フモノニ對應致シマシテ、一種ノ地方稅デアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、即チ或種ノ稅ヲ國ガ徵收致シマシテ、其ノ全部又ハ一部ヲ一定ノ標準ニ依リマシテ、地方團體ニ分與スルト、斯ウ

云フ形ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、從ヒマシテ地方團體ト致シマシテ分與セラレマシタ此ノ稅ハ、他ノ直接課稅ヲ致シマシタ地方稅ト同ジヤウニ、一般ノ財源ニナル譯デアリマス、即チ臨時地方財政補助金ノ如ク、特殊ノ財源ニ與ヘルモノデナク、間接課稅ノ形ニ依テ得マシタ稅デアリ、是ハ一般ノ財源ニ與ヘルト云フ點ニ於テ、附加稅獨立稅ト形ハ變リマシタ、特殊ノ稅デアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、先程ノ御尋ノゴザイマシタ外國ノ問題デアリマスガ、外國ノ例ニ徵シテ見マシテモ、今回ノ分與稅制度ト同ジヤウナ方法ヲ採用致シテ居ル國ガアリマシテ、之ヲ矢張り稅ト名付ケテ居ルモノモアルノデアリマス、例ヘバ「ドイツ」「アメリカ」等ニ於テ、其ノ例ヲ見ルノデアリマス、分與稅ノ概念ヲ譬ヘテ申シマス、例ヘバ地租ニ於テ申シマス、國ニ於テ徵收致シマシテ、之ヲ地方ニ分與致シマス、此ノ全體ノ行程ヲ總括致シマシテ、地租其ノモノヲ分與稅ト斯ウ觀念スルノデアリマス、從テ地方分與稅法ト云フモノハ、主トシテ其ノ中ニハ分與ノ方法ダケヲ規定シテ居ルモノデアリマシテ、地租法トシテ賦課徵收ノ規定ヲ定メテ、從テ理想的ニハ地租法全體ヲモ、分與稅法ノ中ニ規定スルコトガ、形トシテハ適當デアルト思ヒマスガ、既ニ地租法ハ別箇ノ法律トシテ存在致シテ居ルノデアリマスノデ、分與稅法ノ中ニハ唯分與ノ方法ダケヲ規定致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體只今申上ゲマシタヤウナ觀方ノ下ニ還付稅及ビ配付稅ヲ、共ニ附加稅、獨立稅ト相對應致シマシテ、一種ノ地方稅ノ體系ニ加ヘタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○柴田兵一郎君 私ハ本制度ノ本質ニ鑑ミテ、從來ノ地方財政調整交付金乃至地方財政調整金制度ト云フヤウナ、言葉ノ方ガ妥當ノヤウニ考ヘラレマスガ、是ハ意見ノ相違デアリマセウガ、唯是ダケノ違ヒダケヲ申上ゲテ置キマス

○委員長(子爵前田利定君) 別ニ柴田君ハ差向キ質問ハゴザイマセスカ、皆様ニ申上ゲマスガ、大臣ガ見エラレテ居リマスカラ大臣ニ對スル御質問ガゴザイマスカラバ、ドウゾ好イ機會デゴザイマスカラ、御遠慮ナク願ヒタイト思ヒマス

○男爵松平外典磨君 此ノ分與稅ノコトニ付キマシテ御伺ヒヲ致シマス、只今ノ局長ノ御話デ、理想トシテ分與稅ノ中ノ地租其ノ他ノ課稅方法、課稅ト云フモノヲ含マセ

ルノガ理想デアルト云フ御話デアリマシタ、誠ニ御尤モト存ジマス、ソレニ付キマシテ、一旦國稅トシテ取リマスケレドモ、全額地方ニ戻リマスモノナラバ、實體的ニ於テハ、地方ノ財源ニ變リガナイモノト見テ宜カラウト思ヒマス、其ノ場合ニ於キマシテ、內務當局ノ御意思ト致シマシテ、此ノ三稅ノ純然タル地方財源トスルコトニ付テノ御考慮御意見ハ御アリニナッタノデアリマセウカ、一ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(狹間茂君) 只今松平委員ノ御尋ネノ點ハ、地租、家屋稅、營業稅ノ地方財源ニ付テノ問題ノヤウニ伺ヒマシタガ、實ハ今回ノ地方稅制ハ內務大臣ヨリ御説明ガゴザイマシタ通り、獨立財源ハ主トシテ收益稅系統ニ屬シマス謂ハバ物稅ヲ其ノ中心トスルコトニ致シマシテ、所得稅ガ今回ノ中央ニ於ケル直接稅ノ中心ニナリマスコトト相對應致シマシテ、地方稅ト國稅トノ

分野ヲ明確ニシ、又從テ財源確保ノ上ニ於テ之ヲ適當ナラシメルト云フ必要上、從來ノ地租營業收益稅ガ國稅デアリマシタモノヲ地方稅ノ稅收入ニ全部委讓シタノデアリマス、唯其ノ際ニ於ケル取扱ノ方法ト致シマシテハ、之ヲ全然地方ノ獨立稅ニ致シマスカ、或ハ今回ノ如ク一部ヲ國稅トシテ殘シマシテ、還付稅ノ形ヲ取リマスガ、二ツノ進ミ方アルト思フノデアリマスガ、其ノ前者、即チ全部ヲ地方稅ト致シマスニ付キマシテハ、色々ノ點ニ疑問ガアリマシテ、還付稅ノ形ヲ取ルコトニシタノデアリマス、此ノ地租、家屋稅營業稅ヲ一部國稅ニ殘シマス理由ノ最モ大キナモノハ、負擔ノ公平ヲ期スルト云フ點ニアルノデアリマシテ、御承知ノ如ク此ノ課稅標準ヲ現在家屋稅ノ如キニ於キマシテハ、各地方團體ガ之ヲ決定致シテ居リマス關係上、全國的ニ見マシテ非常ニ負擔ガ不公平ニナッテ居リマス、更ニ地租等ニ付キマシテ、之ヲ全然地方稅ニ致シマス、課稅標準ノ決定ガ區々ニナッテ、負擔ノ公平ヲ期シ難イノミナラズ、之ガ分與稅ノ基準トナリマスカラ、益、地方ノ財源ニ不均衡ヲ生ズルト云フ結果ニナリマスノデ、此ノ意味カラシテ、ドウシテモ是ハ純然タル地方稅ニ致シ難イコトニナッテ居リマス、更ニ之ヲ地方稅ト致シマス場合ニ府縣稅トスベキカ、或ハ市町村稅トスベキカ、府縣稅ト致シマスレバ、市町村稅ハ獨立稅ヲ貫ツタ譯デナク、矢張り附加稅ノ形デアリマス、市町村ニ之ヲ委讓シマス、府縣ハ分賦金ト云フガ如キ極メテ原始的ナ稅ノ體系ヲ採ラネバナラスノデアリマスノデ、純然タル地方稅ト致スニハ、此ノ意味ニ於ケル技術上ノ不合理性

モアルノデアリマス、尙一部ヲ地方税ニ殘シマスコトハ、將來社會政策的、經濟政策的ノ措置ヲ講ジマス時ニ、國稅トシテ殘ス方ガ適當デアリ、現在此ノ支那事變ニ於ケル軍人軍屬ニ對スル稅ノ輕減免除ニ關スル措置ヲ致シマス場合ニモ、國稅ニ殘ッテ居ル方ガ適當デアリ、又特ニ地租ニ付キマシテハ、土地、國土ニ對スル課稅ト云フヤウナ稅ノ莊重性ノ問題モアリマス、稅其ノモノノ沿革モアルコトデアリマスカラ、一部ヲ國稅トシテ殘スト云フコトガ最モ適當デアラウト云フノデ、各稅額ノ四分ノ一ダケヲ國稅トシテ殘シマシタ、併シナガラ財源ト致シマシテハ最初ニ申シマシタヤウニ、此ノ收益稅ハ地方ト密接ナル關係ガアルモノデアリマスカラ、全部ヲ地方財源ニスルコトニ致シマシタ、從テ之ヲ地方團體ニ其ノ儘還元交付スルコト云フ形ニ致シマシタノデ、財源ニ於テハ全部地方ニ移ス、形ニ於テハ斯様ナ意味ニ於キマシテ、一部國稅ノ形ヲ經ルト云フコトニシタノデアリマス

○男爵松平外與磨君 サウ致シマス、此ノ分與稅ニ於キマシテ配付稅デスカ、其ノ配付稅ノ一部ハ當局ノ方デ保留サレテ居リマス御考デスカ

○政府委員(狹間茂君) 分與稅ハ全部ガ地方ノ稅デゴザイマスノデ、特別會計デ經理致シマシテ、ソレデ或年度ニ於キマシテ、法律ニ定メマシタ額以上ノ歲入ガアリマシタ場合ニハ、ソレハ此ノ特別會計ニ於テ積立テマシテ、他日歲入ガ法ノ規定ニ依ル歲出ヨリモ不足スルヤウナ場合ニソレヲ以テ補充スルコト云フコトニシマシテ、各年度間ノ調整ヲスルコトニ致シテ居リマス

○男爵松平外與磨君 サウ致シマス、大體建前ト致シマシテハ、配付稅ハ其ノ年度ニ例ヘバ五億ナラ五億ヲ取ルトスレバ、全部此ノ標準ニ依ッテ配付シテマフ、手許ニ一文モ殘サスト云フ、大體斯ウ云フ御趣意デ、若シソレガ非常ニ増額ヲスルヤウデアリマスレバ、是ハ餘剩金トシテ積立ヲスル、斯ウ云フ建前デ御進行ニナルノデスカ

○男爵松平外與磨君 只今ノ御説明デ內務當局ノ御意思ハハッキリ分リマシタガ、次ニハ或ハ是ハ大藏省ノ御關係ニナルカ知レマセヌガ、便宜御答辯願ヘマスレバ御願ヒシタイト思ヒマス、地方分與稅分與金特別會計法案ノ第二條ニアリマス「積立金ヨリ生ズル收入」ト云フ意味ハ、此ノ分與稅ノ一部ヲ保留致シマシテ、其ノ保留シタモノヲ積立テ行クト云フ御趣意デアリマスノカ、念ノ爲ニ一ツ承ッテ置キマス

○政府委員(狹間茂君) 御話ノ通りデアリマシテ、此ノ積立金ヨリ生ズル收入ト申シマスノハ、積立金カラ利息ガ出ルト云フヤウナ場合ヲ考ヘテ居リマス

○政府委員(狹間茂君) 地方分與稅法ノ第六條ニ今御述ニナリマシタ點ハ大體ノ方針ヲ規定致シテ居リマシテ、毎年度分トシテ分與致シマス配付稅ノ額ハ、前々年度デ徵收シマシタ國稅ノ一定割ト云フコトニナッテ居リマス、併シナガラ非常ニ此ノ稅收入ガ多カッタ場合ニハ、百分ノ百十、即チ一割増迄ハ其ノ年度ニ於テ分與スルコトヲ認メテ居リマスガ、一割ヲ超過致シマシタ場合ニハ、ソレハ餘リ地方財政ヲ放漫ナラシメルコトニナリマスノデ、一割以上デアル場合ニハ、是ハ其ノ剩餘額ハ積立ヲスルト云フコトニシテ居リマス、ソレカラ九分ニ足リナイ場合ニハ、九分迄ハ借入金ヲシテモ分與

スルト云フコトニシテ居ルヤウデアリマシテ、是ハ御存ジノ通り、地方財政ノ膨脹ノ比率ガ大體毎年度六七分位ニナッテ居リマスカラ、ソレデ一割迄ハ裕リヲ見テ、配付稅ヲ増額シテ分與スル、ソレ以上デゴザイマスレバ、是ハ積立ヲサセルト云フコトニシテ、特別會計デ經理スルノデアリマス

○男爵松平外與磨君 只今ノ御説明デ內務當局ノ御意思ハハッキリ分リマシタガ、次ニハ或ハ是ハ大藏省ノ御關係ニナルカ知レマセヌガ、便宜御答辯願ヘマスレバ御願ヒシタイト思ヒマス、地方分與稅分與金特別會計法案ノ第二條ニアリマス「積立金ヨリ生ズル收入」ト云フ意味ハ、此ノ分與稅ノ一部ヲ保留致シマシテ、其ノ保留シタモノヲ積立テ行クト云フ御趣意デアリマスノカ、念ノ爲ニ一ツ承ッテ置キマス

○政府委員(狹間茂君) 御話ノ通りデアリマシテ、此ノ積立金ヨリ生ズル收入ト申シマスノハ、積立金カラ利息ガ出ルト云フヤウナ場合ヲ考ヘテ居リマス

○政府委員(狹間茂君) 地方分與稅法ノ第六條ニ今御述ニナリマシタ點ハ大體ノ方針ヲ規定致シテ居リマシテ、毎年度分トシテ分與致シマス配付稅ノ額ハ、前々年度デ徵收シマシタ國稅ノ一定割ト云フコトニナッテ居リマス、併シナガラ非常ニ此ノ稅收入ガ多カッタ場合ニハ、百分ノ百十、即チ一割増迄ハ其ノ年度ニ於テ分與スルコトヲ認メテ居リマスガ、一割ヲ超過致シマシタ場合ニハ、ソレハ餘リ地方財政ヲ放漫ナラシメルコトニナリマスノデ、一割以上デアル場合ニハ、是ハ其ノ剩餘額ハ積立ヲスルト云フコトニシテ居リマス、ソレカラ九分ニ足リナイ場合ニハ、九分迄ハ借入金ヲシテモ分與

スルト云フコトニシテ居ルヤウデアリマシテ、是ハ御存ジノ通り、地方財政ノ膨脹ノ比率ガ大體毎年度六七分位ニナッテ居リマスカラ、ソレデ一割迄ハ裕リヲ見テ、配付稅ヲ増額シテ分與スル、ソレ以上デゴザイマスレバ、是ハ積立ヲサセルト云フコトニシテ、特別會計デ經理スルノデアリマス

○男爵松平外與磨君 只今ノ御説明デ內務當局ノ御意思ハハッキリ分リマシタガ、次ニハ或ハ是ハ大藏省ノ御關係ニナルカ知レマセヌガ、便宜御答辯願ヘマスレバ御願ヒシタイト思ヒマス、地方分與稅分與金特別會計法案ノ第二條ニアリマス「積立金ヨリ生ズル收入」ト云フ意味ハ、此ノ分與稅ノ一部ヲ保留致シマシテ、其ノ保留シタモノヲ積立テ行クト云フ御趣意デアリマスノカ、念ノ爲ニ一ツ承ッテ置キマス

○政府委員(狹間茂君) 御話ノ通りデアリマシテ、此ノ積立金ヨリ生ズル收入ト申シマスノハ、積立金カラ利息ガ出ルト云フヤウナ場合ヲ考ヘテ居リマス

○政府委員(狹間茂君) 地方分與稅法ノ第六條ニ今御述ニナリマシタ點ハ大體ノ方針ヲ規定致シテ居リマシテ、毎年度分トシテ分與致シマス配付稅ノ額ハ、前々年度デ徵收シマシタ國稅ノ一定割ト云フコトニナッテ居リマス、併シナガラ非常ニ此ノ稅收入ガ多カッタ場合ニハ、百分ノ百十、即チ一割増迄ハ其ノ年度ニ於テ分與スルコトヲ認メテ居リマスガ、一割ヲ超過致シマシタ場合ニハ、ソレハ餘リ地方財政ヲ放漫ナラシメルコトニナリマスノデ、一割以上デアル場合ニハ、是ハ其ノ剩餘額ハ積立ヲスルト云フコトニシテ居リマス、ソレカラ九分ニ足リナイ場合ニハ、九分迄ハ借入金ヲシテモ分與

スルト云フコトニシテ居ルヤウデアリマシテ、是ハ御存ジノ通り、地方財政ノ膨脹ノ比率ガ大體毎年度六七分位ニナッテ居リマスカラ、ソレデ一割迄ハ裕リヲ見テ、配付稅ヲ増額シテ分與スル、ソレ以上デゴザイマスレバ、是ハ積立ヲサセルト云フコトニシテ、特別會計デ經理スルノデアリマス

○男爵松平外與磨君 只今ノ御説明デ內務當局ノ御意思ハハッキリ分リマシタガ、次ニハ或ハ是ハ大藏省ノ御關係ニナルカ知レマセヌガ、便宜御答辯願ヘマスレバ御願ヒシタイト思ヒマス、地方分與稅分與金特別會計法案ノ第二條ニアリマス「積立金ヨリ生ズル收入」ト云フ意味ハ、此ノ分與稅ノ一部ヲ保留致シマシテ、其ノ保留シタモノヲ積立テ行クト云フ御趣意デアリマスノカ、念ノ爲ニ一ツ承ッテ置キマス

○政府委員(狹間茂君) 御話ノ通りデアリマシテ、此ノ積立金ヨリ生ズル收入ト申シマスノハ、積立金カラ利息ガ出ルト云フヤウナ場合ヲ考ヘテ居リマス

○政府委員(狹間茂君) 地方分與稅法ノ第六條ニ今御述ニナリマシタ點ハ大體ノ方針ヲ規定致シテ居リマシテ、毎年度分トシテ分與致シマス配付稅ノ額ハ、前々年度デ徵收シマシタ國稅ノ一定割ト云フコトニナッテ居リマス、併シナガラ非常ニ此ノ稅收入ガ多カッタ場合ニハ、百分ノ百十、即チ一割増迄ハ其ノ年度ニ於テ分與スルコトヲ認メテ居リマスガ、一割ヲ超過致シマシタ場合ニハ、ソレハ餘リ地方財政ヲ放漫ナラシメルコトニナリマスノデ、一割以上デアル場合ニハ、是ハ其ノ剩餘額ハ積立ヲスルト云フコトニシテ居リマス、ソレカラ九分ニ足リナイ場合ニハ、九分迄ハ借入金ヲシテモ分與

スルト云フコトニシテ居ルヤウデアリマシテ、是ハ御存ジノ通り、地方財政ノ膨脹ノ比率ガ大體毎年度六七分位ニナッテ居リマスカラ、ソレデ一割迄ハ裕リヲ見テ、配付稅ヲ増額シテ分與スル、ソレ以上デゴザイマスレバ、是ハ積立ヲサセルト云フコトニシテ、特別會計デ經理スルノデアリマス

○男爵松平外與磨君 只今ノ御説明デ內務當局ノ御意思ハハッキリ分リマシタガ、次ニハ或ハ是ハ大藏省ノ御關係ニナルカ知レマセヌガ、便宜御答辯願ヘマスレバ御願ヒシタイト思ヒマス、地方分與稅分與金特別會計法案ノ第二條ニアリマス「積立金ヨリ生ズル收入」ト云フ意味ハ、此ノ分與稅ノ一部ヲ保留致シマシテ、其ノ保留シタモノヲ積立テ行クト云フ御趣意デアリマスノカ、念ノ爲ニ一ツ承ッテ置キマス

○政府委員(狹間茂君) 御話ノ通りデアリマシテ、此ノ積立金ヨリ生ズル收入ト申シマスノハ、積立金カラ利息ガ出ルト云フヤウナ場合ヲ考ヘテ居リマス

○政府委員(狹間茂君) 地方分與稅法ノ第六條ニ今御述ニナリマシタ點ハ大體ノ方針ヲ規定致シテ居リマシテ、毎年度分トシテ分與致シマス配付稅ノ額ハ、前々年度デ徵收シマシタ國稅ノ一定割ト云フコトニナッテ居リマス、併シナガラ非常ニ此ノ稅收入ガ多カッタ場合ニハ、百分ノ百十、即チ一割増迄ハ其ノ年度ニ於テ分與スルコトヲ認メテ居リマスガ、一割ヲ超過致シマシタ場合ニハ、ソレハ餘リ地方財政ヲ放漫ナラシメルコトニナリマスノデ、一割以上デアル場合ニハ、是ハ其ノ剩餘額ハ積立ヲスルト云フコトニシテ居リマス、ソレカラ九分ニ足リナイ場合ニハ、九分迄ハ借入金ヲシテモ分與

スルト云フコトニシテ居ルヤウデアリマシテ、是ハ御存ジノ通り、地方財政ノ膨脹ノ比率ガ大體毎年度六七分位ニナッテ居リマスカラ、ソレデ一割迄ハ裕リヲ見テ、配付稅ヲ増額シテ分與スル、ソレ以上デゴザイマスレバ、是ハ積立ヲサセルト云フコトニシテ、特別會計デ經理スルノデアリマス

○男爵松平外與磨君 只今ノ御説明デ內務當局ノ御意思ハハッキリ分リマシタガ、次ニハ或ハ是ハ大藏省ノ御關係ニナルカ知レマセヌガ、便宜御答辯願ヘマスレバ御願ヒシタイト思ヒマス、地方分與稅分與金特別會計法案ノ第二條ニアリマス「積立金ヨリ生ズル收入」ト云フ意味ハ、此ノ分與稅ノ一部ヲ保留致シマシテ、其ノ保留シタモノヲ積立テ行クト云フ御趣意デアリマスノカ、念ノ爲ニ一ツ承ッテ置キマス

○政府委員(狹間茂君) 御話ノ通りデアリマシテ、此ノ積立金ヨリ生ズル收入ト申シマスノハ、積立金カラ利息ガ出ルト云フヤウナ場合ヲ考ヘテ居リマス

○政府委員(狹間茂君) 地方分與稅法ノ第六條ニ今御述ニナリマシタ點ハ大體ノ方針ヲ規定致シテ居リマシテ、毎年度分トシテ分與致シマス配付稅ノ額ハ、前々年度デ徵收シマシタ國稅ノ一定割ト云フコトニナッテ居リマス、併シナガラ非常ニ此ノ稅收入ガ多カッタ場合ニハ、百分ノ百十、即チ一割増迄ハ其ノ年度ニ於テ分與スルコトヲ認メテ居リマスガ、一割ヲ超過致シマシタ場合ニハ、ソレハ餘リ地方財政ヲ放漫ナラシメルコトニナリマスノデ、一割以上デアル場合ニハ、是ハ其ノ剩餘額ハ積立ヲスルト云フコトニシテ居リマス、ソレカラ九分ニ足リナイ場合ニハ、九分迄ハ借入金ヲシテモ分與

スルト云フコトニシテ居ルヤウデアリマシテ、是ハ御存ジノ通り、地方財政ノ膨脹ノ比率ガ大體毎年度六七分位ニナッテ居リマスカラ、ソレデ一割迄ハ裕リヲ見テ、配付稅ヲ増額シテ分與スル、ソレ以上デゴザイマスレバ、是ハ積立ヲサセルト云フコトニシテ、特別會計デ經理スルノデアリマス

○男爵松平外與磨君 只今ノ御説明デ內務當局ノ御意思ハハッキリ分リマシタガ、次ニハ或ハ是ハ大藏省ノ御關係ニナルカ知レマセヌガ、便宜御答辯願ヘマスレバ御願ヒシタイト思ヒマス、地方分與稅分與金特別會計法案ノ第二條ニアリマス「積立金ヨリ生ズル收入」ト云フ意味ハ、此ノ分與稅ノ一部ヲ保留致シマシテ、其ノ保留シタモノヲ積立テ行クト云フ御趣意デアリマスノカ、念ノ爲ニ一ツ承ッテ置キマス

○政府委員(狹間茂君) 御話ノ通りデアリマシテ、此ノ積立金ヨリ生ズル收入ト申シマスノハ、積立金カラ利息ガ出ルト云フヤウナ場合ヲ考ヘテ居リマス

○政府委員(狹間茂君) 地方分與稅法ノ第六條ニ今御述ニナリマシタ點ハ大體ノ方針ヲ規定致シテ居リマシテ、毎年度分トシテ分與致シマス配付稅ノ額ハ、前々年度デ徵收シマシタ國稅ノ一定割ト云フコトニナッテ居リマス、併シナガラ非常ニ此ノ稅收入ガ多カッタ場合ニハ、百分ノ百十、即チ一割増迄ハ其ノ年度ニ於テ分與スルコトヲ認メテ居リマスガ、一割ヲ超過致シマシタ場合ニハ、ソレハ餘リ地方財政ヲ放漫ナラシメルコトニナリマスノデ、一割以上デアル場合ニハ、是ハ其ノ剩餘額ハ積立ヲスルト云フコトニシテ居リマス、ソレカラ九分ニ足リナイ場合ニハ、九分迄ハ借入金ヲシテモ分與

スルト云フコトニシテ居ルヤウデアリマシテ、是ハ御存ジノ通り、地方財政ノ膨脹ノ比率ガ大體毎年度六七分位ニナッテ居リマスカラ、ソレデ一割迄ハ裕リヲ見テ、配付稅ヲ増額シテ分與スル、ソレ以上デゴザイマスレバ、是ハ積立ヲサセルト云フコトニシテ、特別會計デ經理スルノデアリマス

ヒマスガ、單位稅額一點張りデ、全道府縣ノ從來ノ財政ノ狀況等ヲ見テ、果シテ間ニ合フカドウカト云フコトヲ心配スルノデ、若シカレバ大丈夫夫ダト云フ御確信ガアリマスレバ、更ニモウ一遍御伺ヒシタイト思ヒマス、更ニ第十六條ノ方デアリマスガ、財政需要ト云フコトデアリマスガ、財政需要ト云フモノハ當該道府縣ノ割増人口、是ダケシカ想像出來ナイモノデセウカ、此ノ點ヲチヨツト御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(坂間茂君) 今度ノ稅制改正ニ依リマシテ、各地方團體ヲ通觀致シマス、相當財政收入ニ變動ヲ來スコトハ勿論其ノ通リデゴザイマス、殊ニ非常ニ貧弱ナ財政ノ府縣、市町村等ニ於テハ之ニ依リテ餘程財政ニ餘裕ヲ生ズル、經理ガ樂ニナツテ來ルト思ヒマス、又有り餘ル財源ガゴザイマシタ地方團體ニ於キマシテハ、從來程ノ財政收入ハゴザイマセケレドモ、併シナガラ之ニ依リマシテ相當、十三年度ノ稅ノ徵稅額カラ見マスルト增收ニナルノデゴザイマス、特ニ東京、大阪等大都市ヲ包含シテ居ル地方ニ於キマシテハ、今申シマシタヤウナ事情ガ生ジマスケレドモ、併シ財政經理ニハ聊カノ支障モ來サナイコトト思ヒマス、ソレカラ財政需要ニ付キマシテハ、人口ノ外ニ道路ノ延長トカ、小學校ノ兒童數トカト云フヤウナコトヲ取ル方法モゴザイマスガ、凡ソ各團體ニ共通ナモノヲ取ラナケレバナリマセヌノデ、結局詮ジ詰メテ見マス、人口ト云フモノガ財政需要ヲ表示スル一番的確ナモノデアルト云フノデ、其ノ通り人口ヲ標準ニ取ツノデアリマスガ、之ヲ其ノ儘人口ニ致シマス、實際ノ財政需要ニ應ジナイ結果ニナリマスノデ、割増方法ヲ用ヒタノ

デアリマス
○男爵松平外與磨君 宜シウゴザイマス
○子爵裏松友光君 地方稅ハ地方制度ト密接ノ關係ガゴザイマスカラ、地方稅法ノ改正ヲサレル時ニハ地方制度ノ改革ト云フコトモ同時ニ行ハレルト云フコトガ必要デヤナイカト思ハレマス、就キマシテハ地方制度ノ改革ト云フコトニ付テハ政府ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 御説一應御尤モデアアルデアリマスルノデ、理想的ニ申シマスレバ、地方制度並ニ地方ノ稅制ニ相伴ヒマスルコト云フ事柄ガ必要デアリマスルノデ、何レモ地方ノ自治機能ヲ擴充スル所以デアリマスルカラ、其ノ點ニ於キマシテハ同時ニ之ヲ實行致シマスコトガ理想デアアルデアリマス、併シ御承知ノヤウナ風ニ此ノ地方制度ノ改正ハ既ニ長イ間現行法ガ行ハレテ居リマスノデ、之ガ改正ニ付キマシテハ數年來色々ト研究ヲ遂ゲテ居リマスノデアリマスルケレドモ、其ノ一部分ニ付テハ既ニ委員會ノ答申モ得テ居ルノデアリマスルケレドモ、尙他ノ部分ニ於キマシテ研究ノ十分デナイ點モアルデアリマス、ソレデ私ト致シマシテハ、此ノ全般ニ對シマシテ更ニ檢討ヲ加ヘテ成ルベク早イ時期ニ御審議ヲ仰グヤウニ致シタイト、斯ウ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、今差當リ其ノ地方ノ實情ヲ見マスルコト云フト、殊ニ貧弱町村ニ於キマシテハ殆ド行詰リノ形ヲ生ジテ來テ居リマスルノデ、之ニ新シイ財源ヲ與ヘマシテ、サウシテ此ノ自治活動ニ便利ニナルヤウナ方法ヲ講ジテヤルト云フ事柄ガ更ニ急ナルモノガアリト、斯ウ實ハ考ヘタノデアリマス、而シテ一方ニ於キマシテ

ハ今回ノ稅ノ仕組ヲ以テモ、御承知ノヤウナ風ニ中央ト地方ト相聯關シテ其ノ一般ノ稅制ヲ改正スルコト云フ方針ヲ執テ居リ、而シテ地方稅制度ニ於キマシテモ、還付稅等ニ於キマシテハ國ノ方ノ稅ト可ナリ密接ナル關係ヲ事實上ニ於テ持ッテ居リマスルモノデアリマスカラ、而シテ此ノ國稅ノ方ニ於キマシテハ、時局ガ相當長期ニ亙ルト云フ見透シノ下ニ、此ノ際之ヲ根本的ニ解決スルガ其ノ時宜ヲ得タモノナリト云フコトニ相成リマシタモノデアリマスカラ、從ッテ此ノ地方稅制ノ方ノ改正ヲ行ヒマシテ、其ノ地方自治ノ便宜ヲ與ヘテ行カウ、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、地方制度ノ方ニ付キマシテハ、只今前段ニ申上ゲマシタヤウナ風ニ成ルベク早イ機會ニ於テ御審議ヲ仰グヤウナ風ニ取計ラヒタイト思ッテ居リマス

○子爵裏松友光君 地方制度ノ改正ヲ出來ルダケ早ク御提案ニ相成ルコトヲ希望致シマスケレドモ、御尋ネ致シタイコトハ、今回ノ地方稅ノ改革ニ付キマシテ負擔ノ公平ト云フコトハ非常ニ改良サレタ點デゴザイマスケレドモ、ズツト通觀シテ見マス、貧弱ナ町村ニ於テハ恩惠ヲ受ケルコトガ非常ニ多クナツテ、比較的ニ富裕ナル町村ニ於キマシテハソレ程恩惠ヲ受ケナイ、斯ウ云フ風ニナリマス、日本國中全體ノ見テ先ヅ「レベ」ハ貧弱ナ町村ノ所ニハ上ルカモ知レマセヌガ、全體カラ見ルト云フモノデアラウカ、中間ナル町村ニ對シテ恩惠ハ受ケルコトガ少イヤウニ思ハレハシナイカト思ヒマス、其ノ點ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(坂間茂君) 只今ノ御尋ノ點ニ付キマシテ極ク財政ノ裕カデアアル所ト、貧弱ナル所ニ依リマシテ今回ノ稅制ガ働キマス形ガ非常ニ違ッテ參リマスノデ、其ノ點ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、稅制ガ分レマシテ獨立財源ト調整財源トナツテ居リマス、獨立財源ハ六億六七千萬圓デゴザイマス、ソレカラ調整財源ガ三億數千萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、サウシテ先ヅ貧弱ナル團體ニ付テ考ヘマス、此ノ貧弱ナル町村ニハ獨立財源ト云フモノハ非常ニ少額ナノデアリマス、土地ニシマシテモ賃賃價格ガ非常ニ低イシ、又營業等ハ餘リアリマセヌカラ、獨立財源ノ收入ハ非常ニ少イノデアリマス、併シナガラ左様ナ場合ニ於キマシテハ土地、家屋稅、營業稅等ノ先程申シマシタ單位稅額ト云フモノガ非常ニ低クナリマスカラ、配付稅ノ第一種配付額ト云フモノガ相當ニ多額ニ參リマス、デス様ナ團體ハ、從來ノ稅制ニ於キマシテハ甚ダ財源ニ苦シメ極メテ過重ナ戶數割ヲ賦課シテ漸ク凌イデ居リマシタガ、今回戶數割ガ廢止ニナリマシテ、サウシテ此ノ配付稅ノ財源ニ依ッテ十分自治活動ヲ爲スコトガ出來ルヤウニナルノデアリマス、貧弱ナル團體ニ付キマシテハ斯ウ云フ構成ニ依ッテ地方財政ガ樂ニナツテ來ルト考ヘテ居リマス、ソレカラ財源ノ富裕ナル團體ニ付テ考ヘマス、是ハ今回ノ稅制ニ於ケル所謂配付稅ニ依ッテ左程大キナ恩惠ハ受ケナイコトニナルト思ヒマス、大體斯様ナ團體デアリマス、此ノ團體ニハ、人口ノ割合ニ應ジテ配付稅ガ相當多額ニ參リマス、單位稅額即チ土地、家屋、營業稅ノ收入ガウント多額ニアリマスカラ、配付稅ノ第一種ノ方ノ課稅力標準トシテ言ヘバサウ多額ニハ非常ニ富裕ナル團

體ニハ參ラナイコトニナルト思ヒマス、從ツテ配付稅ノ恩惠ハ比較的斯様ナ團體ハ薄イト思ヒマス、併シ一面ニ於テ獨立稅トシテ土地、家屋、營業稅ト云フモノガ金額全部地方ノ財源ニナリマスノデ、非常ニ財政收入ガ豐富ニナツテ參ルノデアリマシテ、其ノ意味ニ於キマシテ富裕ナ團體ハ財政上ニ強イ基礎ヲ持ツコトニナルト思ヒマス、今回ノ稅制ノ改正ニ於キマシテ、從來制限外課稅ヲ致シテ居リマシタモノモ、全部含メテ今回ノ賦課率ヲ定メテ居リマスカラ、其ノ賦課率伸縮性ヲ認メルコトニ依リマシテソコニ財政ノ餘裕ヲ持ツコトガ出來ルト思ヒマス、又配付稅ガ所得稅、法人稅等ヲ押ヘテ居リマスノデ、其ノ伸張力モ或意味ニ於テハ現レテ來ルト思フノデアリマシテ、富裕ナ團體ニ付キマシテモ、財政經理上十分ナル力ヲ與ヘルコトトナルト思フノデアリマス、只今委員課ノ方ニ提出シテ程ナク御手許ニ參ルト思ヒマスガ、六大都市ガ最も顯著ナ例デアリマスノデ、六大都市ニ付テドウ云フ風ニナルカト云フコトヲ、表デ御覽戴クヤウニシマシテ、程ナク御手許ニ參ルト思ヒマスガ、此ノ六大都市ニ付テ見マシテモ、横濱、京都ノ如キハ從來財政力ガ弱イノデアリマシテ、非常ニ此ノ稅制改正ノ結果經理ガ樂ニナツテ參リマス、ソレカラ東京、大阪ノ如キハ配付稅ニ依ル大キナ恩惠ハゴザイマセスガ、獨立財源ガ強化サレマスノデ、從前ノ制度ニ比ベマシテ、相當十三年度ヲ押ヘマスレバ多額ノ自然増收ガアリマシタト同ジ結果ノ稅收入ガアルヤウニ構成セラレテ居ルノデアリマス

是ハ非常ニ弊害ガ多ク、之ヲ今度廢止サレタト云フコトハ誠ニ結構ナコトデアリマスガ、戶數割ノ弊害ノ多イト云フコトハ種々認メマスケレドモ、是ト同時ニ長所モ多分ニ備ヘテ居リマシテ、今回市町村民稅ニ於キマシテ、之ヲ補フコト云フヤウニナリマシタガ、例ヘバ市町村ニ於キマシテ何カ天災トカ、或ハ非常ナ災害ノアツタ場合ニ、ソレ相當ノ手段ガ他ニアルコトデゴザイマセウケレドモ、其ノ他何カ非常ナ費用ガ要ルト云フヤウナ時ニ、他カラ出シ様ガナイ、斯ウ云フコトニナリマス、結局寄附ヲ仰グヤウニナリハシナイダラウカ、サウスルト其ノ寄附ト云フモノハ成ル程法律ニ依リテ決ツタモノデナク、自由意思デ出スノダカラ、其ノ寄附ニ應ジナクモ宜イノデヤナイカト云フヤウナ議論モ立ツカモ知レマセヌケレドモ、其ノ市町村ノヤウナ、サウ云フ場合ニ於テハ寄附ヲサレル、ソレハ或ハ官憲ヲ通ジテ言フトカ云フ場合ニ於キマシテハ、寄附ヲ拒絕スルコトガナカナ困難ナ場合ガ多イダラウト思ヒマス、デスカラ是ト同時ニ、寄附ト云フコトニ付テ餘程嚴重ナ監督ヲサレルコトガ必要ダラウト思ヒマスガ、其ノ點ドウ云フ風ニ御考ニナリマス

正ガ爲スコトガ出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ寄附ノ問題ハ、斯ウ云フ制度如何ニ拘ラズ、慣習トシテ殘ツテ居ル問題デアリマスノデ、此ノ點ハ十分當局トシテモ考慮シナケレバナラナイコトデアルト思ヒマス、單純ナ自由意思ニ依リマス寄附等ニ付キマシテハ是ハ別箇ノ問題デアリマスガ、是ハ色々ノ形ニ於テ寄附ヲ強制スルト云フヤウナ問題ハ、將來餘程注意ヲ致シマシテ弊害ノナイヤウ考究ヲ進メテ參ル必要ガアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○子爵裏松友光君 市町村民稅ノコトニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマスガ、其ノ課稅方法等ニ付テ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(狹間茂君) 市町村民稅ニ付キマシテハ、地方稅法第六十四、六十五、六十六條、此ノ三條ニ大キナ基本原則ヲ定メテ居リマス、是ハ納稅義務者ト賦課期日、ソレカラ納稅額ニ關スル制限、是ダケデアリマシテ、他ノ課稅方法ハ大體各市町村ノ自由ニ委セルコトニ致シテ居リマス、茲ニ掲ゲマシタノハ極メテ基本的ノ原則デアリマシテ、納稅義務者ニ付キマシテハ、從來ノ戶數割ヨリモ此ノ稅ノ性質上成ルベク納稅義務ヲ普遍化セシメルト云フ意味ニ於キマシテ、個人ノミナラズ法人ニ對シマシテモ市町村民稅ノ納稅義務ヲ負ハセルコトニ致シテ、此ノ市町村民稅ハ成ルベク簡易ニ取ルト云フコトガ出來ルヤウニ致スコトガ必要デアリマスノデ、全國的ニ賦課期日ヲ十月一日ト云フコトニ定メマシテ、其ノ前後ニ於ケル異動ト云フモノヲ考慮ニ入レナイコトニ致シテ居リマス、ソレカラ戶數割ノ如ク弊害ガ生ジマスコトヲ避ケル爲ニ、納稅義務者ノ最高額及各團體ニ於ケル納稅義務

者一人ノ最高ノ平均納稅額ト云フモノノ制限ヲ致シマシテ、負擔ノ過重ニ過グルコトノナイヤウニ致シテ居リマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、市町村ハ市町村條例ヲ以テ自由ニ定メ得ルノデアリマシテ、殊ニ課稅標準ノ如キモノニ付キマシテハ、各地方團體ノ實情ニ應ジマシテ、或ハ所得額ヲ押ヘ、資産ヲ押ヘ、又家屋ノ賃貸價格、宅地ノ賃貸價格ト云フヤウナモノヲ標準ニモ加ヘ、又事情ニ應ジマシテハ見立ニ依ルト云フコトモ認メマシテ、是ハ成ルベク自治ヲ尊重シテ各地方團體ガ自由ニ定メルト云フコトニ致シタイト思ヒマス、又最高額ニ付キマシテモ、是ハ市町村ガ其ノ條例ニ依リマシテ法ノ許サレタ範圍内ニ於テ適當ノ額ヲ定メルコトニサセタイト思ツテ居リマス、

○子爵裏松友光君 地方分與稅分與金特別會計ト云フノガ今度御設定ニナリマスガ、此ノ主管ハ何處デスカ

○政府委員(狹間茂君) 此ノ分與稅分與金ハ、實ハ一面ニ於テ還付稅ハ稅其ノモノトシテ直接ニ特別會計ニ收入ヲ致シマス、サウ云フ關係モゴザイマスシ、又所得稅、法人稅トヲ、是ハ所得稅、法人稅ト申シマスガ、ソレガ其ノ儘分與稅ニナル譯デアリマス、斯様ナ意味ニ於キマシテ大藏省ガ關係ヲ持タマス、併シナガラ是ハ地方團體ノ財源デアアル所ノ分與稅金デゴザイマスカラ、内務省ガ管理スベキ筋合ノモノデアリマスノデ、此ノ特別會計ハ内務、大藏兩省ノ共管ト云フコトニ致シテアルノデアリマス

○子爵裏松友光君 從來特別會計ニ於テ内務大藏ノ兩省デ共管スルト云フヤウナ特別會計ノ共管ト云フ例ハ極メテ稀ダラウト思ヒマスガ、其ノ點ハドウデスカ

○政府委員(扶間茂君) 非常ニ是ハ稀ナ例デアリマスガ、最近ニ於キマシテハ支那事變ノ臨時軍事費ガ陸海軍兩省ノ共管ニナツテ居ルヤウニ記憶致シテ居リマス、尙古ク此ノヤウナ例ガ極ク稀デハゴザイマスガ、アルヤウニ記憶致シテ居リマス

○男爵松平外與磨君 只今市町村民稅ノコトニ付テ御質問ガアリマシタガ、是ニ付テチヨット關聯シテ居リマスカラ御尋ネ致シタイ、此ノ六十六條ヲ見マス「千圓ヲ超ユルコトヲ得ズ」ト書イテアリマスガ、衆議院ニ於テハ三階段ニ變ヘラレマシタ、之ニ對スル政府ノ御考ヲ先ヅ最初ニ伺ヒタイと思ヒマス

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 市町村民稅ハ收入ノ目的ヨリハ寧ロ地方自治ノ精神、分擔ノ精神ヲ強メヨウト云フ意味カラ定メタモノデアリマスノデ、其ノ總額ハ五千萬圓デ、地方ノ實情ニ應ジマシテ、四圓六圓八圓デゴザイマスガ、一人當リノ額ヲソレニ決メ、サウシテ最高額ヲ千圓以內、斯ウ云フコトニ實ハ決メテ、餘リ一人ニ多額ノ納稅ヲ強ユルト云フヤウナ形ヲ避ケ、一面ニ於テハ成ルベク廣ク之ヲ分擔シテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナ精神デ實ハ作ツタノデアリマス、ソコデ衆議院ノ方デハソレデハ餘リニ單一過ギテ居ル、東京等大都市ト極ク貧弱農村トノ間ニハ非常ナ差異ガアルカラ、ソレニ應ズル爲ニ、六大都市等ニ於キマシテハ最高額ヲ二千圓迄ニシ、ソレカラ普通ノ市ニ於テハ千五百圓、ソレカラ町村ニ於テハ千圓ト云フヤウニ、三階段ニシタ方ガ實際ニ應ズルノデハナイガラウカ、殊ニ只今申上ゲマシタ通りニ一人當リ平均額ヲ三段ニシテ居リマスカラ、是ハドウシ

テモ三段ニ爲ス方ガ適當デハナイガラウカ、斯ウ云フ意味カラ之ヲ修正致シタノデアリマス

○男爵松平外與磨君 少シ邪推カモ知レマセヌガ、此ノ七十萬以上ノ市八圓、以下六圓、四圓ト、此ノ基準額ヲ御出シニナツタ根據ヲ伺ヒタイ、實ハ私間達カ知リマセヌガ、斯ウ云フ風ニ想像シテ居ル、今御話ノ通り市町村民稅ノ總額ガ押ヘラレテ居ルノデハナイカト思ヒマス、ソレヲ人口數デ適宜ニ按配シテ出サレタモノデアリマスガ、ドウモ其ノ點ガハッキリ解ラナイノデアリマス、ソコヲモウ少シ説明シテ戴キタイと思ヒマス

○政府委員(扶間茂君) 大體只今內務大臣ガ御答ニナリマシタ通りデアリマシテ、市町村民稅ハ餘リ多額ノ稅ヲ取ツテハ稅ノ性質上宜クナイト思ヒマス、ソレデ市町村ノ稅收入總額五億圓内外デアリマスガ、其ノ一割ト云フコトデ五千萬圓程度ニ押ヘタノデアリマス、五千萬圓程度ニ押マシテ、ソレヲドウ云フ風ニシテ制限ヲスルカト申シマス、結局其ノ團體デドレダケノ稅額ヲ取セルヤウニスレバ宜イカト云フコトヲ考ヘテ見タノデアリマス、サウシテ其ノ場合團體ト致シマシテノ納稅義務者ノ所在、其ノ資力ト云フモノヲ考ヘマスト、都市ノ團體ノ大小ニ依ツテ大體區別ガ出來ルト思ヒマス、即チ大都市、中小都市、町村、斯ウ云フ風ニ團體の資力ヲ分ケテ考ヘルコトガ合理的デアルト思ヒマシテ、ソレデ八圓、六圓、四圓、斯ウ云フ風ニ押ヘマストマア大體ノ見込デゴザイマスガ、之ニ依ツテ五千萬圓程度ニ制限ガ出來ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵松平外與磨君 地方稅法案ノ第二款獨立稅ニ付テ御尋ネ申上ゲマス、此ノ六十三條ニ獨立稅トシテ課稅シ得ベキ市町村稅ガ出テ居リマス、ソレカラ又四十八條ニハ府縣稅トシテ課稅シ得ベキ獨立稅ノ稅目ガ載ツテ居リマス、是ハ先般モ御話ノ通り雜種稅ガ名前ガ變ツモノダト主張セラレテ居リマスガ、之ヲ比ベマス、府縣ノ獨立稅ノ稅目ガ可ナリ制限サレマシタ、恐ラク是ハ還付稅ノ關係カラ制限サレタモノト思ヒマスガ、之ヲ市町村ノ獨立稅ニ比ベマスルト、市町村ノ方モアリマス上ニ更ニ此ノ「府縣ニ於テ第四十八條ニ掲グル獨立稅ヲ課セザルモノアルトキハ市町村ハ之ヲ市町村ノ獨立稅トシテ課スルコトヲ得」トアリマスカラ、茲ニ一ツ途ガアリマス、更ニ「市町村ハ前二項ニ掲グルモノノ外別ニ稅目ヲ起シテ獨立稅ヲ課スルコトヲ得」ト云フコトガアリマスノデ、市町村ノ方ガ獨立稅ヲ假ニ賦課シ得ル稅目ト云フモノガ、府縣ニ比ベテ相當廣クナツテ居ルンデヤナイカ、此ノ兩者ヲ按配サレマシタ內務當局ノ御意見ヲ承リタイと思ヒマス

○政府委員(扶間茂君) 現行制度ニ於キマシテハ、府縣稅ノ雜種稅ハ相當多數認メラレテ居リマス、法定課目ガ十種類、特別課目ガ十七種類バカリアルノデアリマスガ、今回此ノ雜種稅ヲ整理致シマシタノハ、府縣ト云フ大キナ團體トシテ徵收スルニ適切ナモノデアリ、又現在ノ雜種稅ノ狀況カラ見マシテ、成ルベク各道府縣ニ普遍的ナモノデ目ボシイ財源ト云フヲ選擇致シマシテ、今回ハ此ノ八種ノ稅ニ限定致シタノデアリマス、其ノ外ノ稅ニナリマス、隨分種類ハゴザイマスガ、是ハ各府縣區々デア

リマシテ、普遍的ナ稅トモ申セマセヌシ、又稅額カラ申シマシテモ、極ク少額ノモノガ多イノデアリマス、斯様ナ稅ハ寧ロ是ハ市町村ニ委讓スル方ガ適當デアルト云フノデ、市町村ノ方ニ移シタノデアリマス、唯自轉車稅ハ、相當大キナ稅デゴザイマスケレドモ、是ハ今回相當減稅ヲ致シタイ考ヲ以テマシテ、市町村ノ方ニ移シタノデアリマス、斯ウ云フノデ雜種稅ヲ整理シタノデアリマスガ、稅總額カラ申シマス、之ニ依ツテ稅收入ニ左程大キナ變動ヲ來スモノデハゴザイマセヌ

○伯爵橋本實斐君 私モ二三御尋ネ致シタイ存ジマス、第一問ハ、先程裏松子爵カラモ御尋ガゴザイマシタ問題ニ關聯ガアルノデゴザイマス、今回ノ地方稅制改革案ニ依リマシテ、地方團體ハ恆久的ナ財源ヲ確保致シマシタノデアリマスルカラ、從來行ハレテ居リマシタヤウナ寄附金ト云フモノハ、此ノ際斷然一掃シナケレバナラスモノト考ヘルノデアリマス、先程裏松子爵ノ御尋ニ對シマシテ、內務當局カラ、將來ハサウ云フコトノナイヤウニ手配スル、斯ウ云フ御話デゴザイマシタガ、此ノ點ニ關シマシテハ、從來モ隨分問題ニナツテ居ル度ニ、議會等ニ於テ內務當局ノ御答辯ハ常ニ將來サウ云フコトノナイヤウニスル、斯ウ云フ御話デアリマシタ、今回ハ地方自治體ガ相當ナ恆久的ナ財源ヲ得マシタカラ、從來ノヤウナコトハアルマイト存ジマスルガ、內務當局ニ於キマシテ、何等カ此ノ點ニ付キマシテ、制度上ノ禁止的ナ效力ヲ發揮スルヤウナ御工夫ヲセラル、御考ハナイモノデゴザイマセウカ此ノ點ヲ先ヅ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 先程政府委員ヨリ御説明申上ゲマシタル通りニ、今回ハ地方ニ相當ノ財源ヲ與ヘルコトニナリマシタ點カラ考ヘテ見マシテ、從來ノ如ク、個人ノ寄附ハ別ト致シマシテ、所謂公共團體ニ對シマスル寄附ト云フモノハ大體少クナク得ルコトト一面ニ於テハ考ヘラレノデアリマス、ソレトモウツハ今回受益制度ヲ擴張致シマシテ受益制度ニ依リマスル課税ノ範圍モ擴メテ居リマスシ、又目的税モ、又水利事業其ノ他ニ對シマシテモ、目的課税ヲ課スルコトニ致シテアルノデアリマスルカラ、或ハ受益者ニ對シマシテモ特別課税ヲスル、或ハ目的税ニ依リマシテ、目的ヲ達スル爲ニ特殊ノ税ヲ課スルコトガ出來、一面ニ於テハ財政上幾ラカノ餘裕ヲ生ジテ參リマスカラ、從來ノ如キ弊害ハ自ラ茲ニ減少スルノデハナイダラウカト想像シテ居ルノデアリマス、但シ地方税才互ノ間ノ私的ノ寄附ハ、是ハ今日問題外トシテ御話申上ゲルノデアリマスカラ、公的ニ屬スベキ寄附ハ漸次減少シテ參ルノデヤナイカト思ウテ居リマス、又之ニ對シマシテハ成ルベク行政監督ノ上カラモ、其ノ弊害ガナイヤウナ風ニハ努メ行キタイと思フノデアリマス、而シテ之ニ對シテ何カ立法的ナ方法ニ依リマシテ寄附ヲ制限シ、又ハ之ヲ禁止スルノ方法ヲ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマスルケレドモ、制度上ノ問題ト致シマシテハ、今日直チニ立法上ノ手續ヲ以テ寄附ヲ矯正スルコト云フ途ヲ講ズルコトハドウデアラウカト云ツテ、今考慮中デアアルノデアリマス、但シ今回ノ税制改正ヲ致シタノニモ拘リマセズ、其ノ弊害ガ助長スルヤ

ウナコトガアリマスレバ、其ノ際ニ於キマシテハ、只今御説ノヤウナ風ニ何等カノ方法ヲ講ジ、以テ其ノ弊害ヲ防イデ行カナレバナラヌト云フコトニ至ル場合ヲ想像サレルノデアリマスガ、只今ノ所デハ今立法上ノ手續ニ迄及ブト云フコトハドウデアラウカト考ヘテ居リマスノデアリマス

○伯耆橋本實斐君 新シイ公共的ノ財源ヲ獲得致シマシタ地方團體ガ、今後從來ノ如キ弊ヲ更ニ重ネルコトハ萬アルマイト存ジマス、只今内務大臣ノ仰セノ通り、暫ク今回ノ税制改革案ヲ御實施ニナリマシタ結果ヲ御覽ニナリマシテ、若シ左様ナコトガゴザリマスルナラバ、斷乎トシテ御取締ヲ御實施ニナルコトヲ希望致シマス、更ニ次ノ點ヲ御伺ヒ致シタイト存ジマス、今回ノ地方税制度改革ニ依リマシテ、地方團體ハ、只今モ申シマシタヤウニ、恒久的ナ財源ヲ得マスカラ、從來貧窮ナル町村モ相當ノ金ヲ握ル、相當ナ金ヲ握リマスルト、之ヲ何等カ積極的ナ仕事ニ使ツテ見タイト考ヘルコトハ、是ハ陷リ易イ弊害ト存ジマス、然ルニ一方過去ニ於テ是等ノ多クノ市町村ハ多數ナ少カラナイ負債ヲ負ツテ居リマス、而モ是ガ今尙銷却セラレナイ狀態ニ殘サレテ居ルノデアリマス、今回ノ税制改革ニ依リマシテ得タ財源ノ一部ヲ以テ、先ヅ以テ過去ノ是等ノ負債ヲ銷却シ、市町村團體ノ財政ノ健全ヲ圖ルベキモノト私ハ考ヘテ居リマスガ、只今モ申上ゲマシタヤウニ、豐富ナ財源ヲ獲得スル場合ニハ、得テ濫費ニ陷リマシテ、過去ノ負債ノ銷却ニ充デルト云フヤウナ注意モ動トモスレバ閉却セラレハ致サナイカト云フコトヲ悞レルノデアリマス、政府ハ之ニ對シテ監督上ノ何等カノ御

用意ガアツテ然ルベキコトト考ヘマスガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 今回地方ニ主トシテ配付税等ヲ分賦スル方法ト致シマシテ、地方ノ實情ニ即シマシテ之ヲ交付スルコトニ致シタノデアリマス、從ヒマシテ必要以上ニ配付税等ヲ配付スルコト云フ事柄ハ先ヅ大體ニ於テ一面ニ於テハナイノデアリマス、而シテ從來ハ借金ニ苦シミ、又ハ寄附等ニ依リマシテドウヤラ維持シテ居リマシタ所謂貧弱町村、此ノ町村ニ於キマシテハ、之ニ依リマシテ相當ノ新シイ施設モヤリ得ル途ハ生ジマセウガ、是等ノ町村ハ只今御話ノ通り多ク負債ヲ持ツテ居ルノデアリマス、先ヅ此ノ負債ノ整理ヲ第一ニ考ヘマセヌト云フト、將來町村ガ本當ニ生キテ行クト云フ途ガ講ゼラレナイと思ヒマスルノデ、其ノ點ニ於キマシテハ從來ノ負債ヲ整理スルコトニ重點ヲ置イテ考ヘテ見タイト思ヒマスシ、又今回ノヤウナ地方制度ガ布カレマスレバ、ソレニ伴ヒマシテ監督機關モ從來ヨリ充實致シマシテ、之ガ正シイ支出、正シイ收入、此ノ點ニ於キマシテ十分ナル監督ヲシテ行キタイモノダト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 先程政府委員ヨリ御説明申上ゲマシタル通りニ、今回ハ地方ニ相當ノ財源ヲ與ヘルコトニナリマシタ點カラ考ヘテ見マシテ、從來ノ如ク、個人ノ寄附ハ別ト致シマシテ、所謂公共團體ニ對シマスル寄附ト云フモノハ大體少クナク得ルコトト一面ニ於テハ考ヘラレノデアリマス、ソレトモウツハ今回受益制度ヲ擴張致シマシテ受益制度ニ依リマスル課税ノ範圍モ擴メテ居リマスシ、又目的税モ、又水利事業其ノ他ニ對シマシテモ、目的課税ヲ課スルコトニ致シテアルノデアリマスルカラ、或ハ受益者ニ對シマシテモ特別課税ヲスル、或ハ目的税ニ依リマシテ、目的ヲ達スル爲ニ特殊ノ税ヲ課スルコトガ出來、一面ニ於テハ財政上幾ラカノ餘裕ヲ生ジテ參リマスカラ、從來ノ如キ弊害ハ自ラ茲ニ減少スルノデハナイダラウカト想像シテ居ルノデアリマス、但シ地方税才互ノ間ノ私的ノ寄附ハ、是ハ今日問題外トシテ御話申上ゲルノデアリマスカラ、公的ニ屬スベキ寄附ハ漸次減少シテ參ルノデヤナイカト思ウテ居リマス、又之ニ對シマシテハ成ルベク行政監督ノ上カラモ、其ノ弊害ガナイヤウナ風ニハ努メ行キタイと思フノデアリマス、而シテ之ニ對シテ何カ立法的ナ方法ニ依リマシテ寄附ヲ制限シ、又ハ之ヲ禁止スルノ方法ヲ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマスルケレドモ、制度上ノ問題ト致シマシテハ、今日直チニ立法上ノ手續ヲ以テ寄附ヲ矯正スルコト云フ途ヲ講ズルコトハドウデアラウカト云ツテ、今考慮中デアアルノデアリマス、但シ今回ノ税制改正ヲ致シタノニモ拘リマセズ、其ノ弊害ガ助長スルヤ

用意ガアツテ然ルベキコトト考ヘマスガ、其ノ點ハ如何デアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 先程政府委員ヨリ御説明申上ゲマシタル通りニ、今回ハ地方ニ相當ノ財源ヲ與ヘルコトニナリマシタ點カラ考ヘテ見マシテ、從來ノ如ク、個人ノ寄附ハ別ト致シマシテ、所謂公共團體ニ對シマスル寄附ト云フモノハ大體少クナク得ルコトト一面ニ於テハ考ヘラレノデアリマス、ソレトモウツハ今回受益制度ヲ擴張致シマシテ受益制度ニ依リマスル課税ノ範圍モ擴メテ居リマスシ、又目的税モ、又水利事業其ノ他ニ對シマシテモ、目的課税ヲ課スルコトニ致シテアルノデアリマスルカラ、或ハ受益者ニ對シマシテモ特別課税ヲスル、或ハ目的税ニ依リマシテ、目的ヲ達スル爲ニ特殊ノ税ヲ課スルコトガ出來、一面ニ於テハ財政上幾ラカノ餘裕ヲ生ジテ參リマスカラ、從來ノ如キ弊害ハ自ラ茲ニ減少スルノデハナイダラウカト想像シテ居ルノデアリマス、但シ地方税才互ノ間ノ私的ノ寄附ハ、是ハ今日問題外トシテ御話申上ゲルノデアリマスカラ、公的ニ屬スベキ寄附ハ漸次減少シテ參ルノデヤナイカト思ウテ居リマス、又之ニ對シマシテハ成ルベク行政監督ノ上カラモ、其ノ弊害ガナイヤウナ風ニハ努メ行キタイと思フノデアリマス、而シテ之ニ對シテ何カ立法的ナ方法ニ依リマシテ寄附ヲ制限シ、又ハ之ヲ禁止スルノ方法ヲ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマスルケレドモ、制度上ノ問題ト致シマシテハ、今日直チニ立法上ノ手續ヲ以テ寄附ヲ矯正スルコト云フ途ヲ講ズルコトハドウデアラウカト云ツテ、今考慮中デアアルノデアリマス、但シ今回ノ税制改正ヲ致シタノニモ拘リマセズ、其ノ弊害ガ助長スルヤ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 先程政府委員ヨリ御説明申上ゲマシタル通りニ、今回ハ地方ニ相當ノ財源ヲ與ヘルコトニナリマシタ點カラ考ヘテ見マシテ、從來ノ如ク、個人ノ寄附ハ別ト致シマシテ、所謂公共團體ニ對シマスル寄附ト云フモノハ大體少クナク得ルコトト一面ニ於テハ考ヘラレノデアリマス、ソレトモウツハ今回受益制度ヲ擴張致シマシテ受益制度ニ依リマスル課税ノ範圍モ擴メテ居リマスシ、又目的税モ、又水利事業其ノ他ニ對シマシテモ、目的課税ヲ課スルコトニ致シテアルノデアリマスルカラ、或ハ受益者ニ對シマシテモ特別課税ヲスル、或ハ目的税ニ依リマシテ、目的ヲ達スル爲ニ特殊ノ税ヲ課スルコトガ出來、一面ニ於テハ財政上幾ラカノ餘裕ヲ生ジテ參リマスカラ、從來ノ如キ弊害ハ自ラ茲ニ減少スルノデハナイダラウカト想像シテ居ルノデアリマス、但シ地方税才互ノ間ノ私的ノ寄附ハ、是ハ今日問題外トシテ御話申上ゲルノデアリマスカラ、公的ニ屬スベキ寄附ハ漸次減少シテ參ルノデヤナイカト思ウテ居リマス、又之ニ對シマシテハ成ルベク行政監督ノ上カラモ、其ノ弊害ガナイヤウナ風ニハ努メ行キタイと思フノデアリマス、而シテ之ニ對シテ何カ立法的ナ方法ニ依リマシテ寄附ヲ制限シ、又ハ之ヲ禁止スルノ方法ヲ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマスルケレドモ、制度上ノ問題ト致シマシテハ、今日直チニ立法上ノ手續ヲ以テ寄附ヲ矯正スルコト云フ途ヲ講ズルコトハドウデアラウカト云ツテ、今考慮中デアアルノデアリマス、但シ今回ノ税制改正ヲ致シタノニモ拘リマセズ、其ノ弊害ガ助長スルヤ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 先程政府委員ヨリ御説明申上ゲマシタル通りニ、今回ハ地方ニ相當ノ財源ヲ與ヘルコトニナリマシタ點カラ考ヘテ見マシテ、從來ノ如ク、個人ノ寄附ハ別ト致シマシテ、所謂公共團體ニ對シマスル寄附ト云フモノハ大體少クナク得ルコトト一面ニ於テハ考ヘラレノデアリマス、ソレトモウツハ今回受益制度ヲ擴張致シマシテ受益制度ニ依リマスル課税ノ範圍モ擴メテ居リマスシ、又目的税モ、又水利事業其ノ他ニ對シマシテモ、目的課税ヲ課スルコトニ致シテアルノデアリマスルカラ、或ハ受益者ニ對シマシテモ特別課税ヲスル、或ハ目的税ニ依リマシテ、目的ヲ達スル爲ニ特殊ノ税ヲ課スルコトガ出來、一面ニ於テハ財政上幾ラカノ餘裕ヲ生ジテ參リマスカラ、從來ノ如キ弊害ハ自ラ茲ニ減少スルノデハナイダラウカト想像シテ居ルノデアリマス、但シ地方税才互ノ間ノ私的ノ寄附ハ、是ハ今日問題外トシテ御話申上ゲルノデアリマスカラ、公的ニ屬スベキ寄附ハ漸次減少シテ參ルノデヤナイカト思ウテ居リマス、又之ニ對シマシテハ成ルベク行政監督ノ上カラモ、其ノ弊害ガナイヤウナ風ニハ努メ行キタイと思フノデアリマス、而シテ之ニ對シテ何カ立法的ナ方法ニ依リマシテ寄附ヲ制限シ、又ハ之ヲ禁止スルノ方法ヲ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマスルケレドモ、制度上ノ問題ト致シマシテハ、今日直チニ立法上ノ手續ヲ以テ寄附ヲ矯正スルコト云フ途ヲ講ズルコトハドウデアラウカト云ツテ、今考慮中デアアルノデアリマス、但シ今回ノ税制改正ヲ致シタノニモ拘リマセズ、其ノ弊害ガ助長スルヤ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

○伯耆橋本實斐君 只今ノ御答辯ニ依リマスルト、將來貧窮町村ノ持ツテ居リマス負債ノ銷却ニハ極力當ラセルト云フ御話デアリマスガ、從來設ケラレテ居リマシタ負債整理基金等ノ制度ハ其ノ儘御履行ノ御積リデアリマスカ

意スル積リデゴザイマス、獨立税ノ問題ニ付キマシテハ、市町村税ノ中デ主務大臣ノ許可ヲ致シマスルモノニ付キマシテハ、從來認メテ居リマス市町村ノ獨立税ハ成ルベク指定ヲ致シマシテ其ノ儘ニ認メル積リデアリマスガ、更ニ新規ノ税ヲ起シマス場合ニ於キマシテハ、其ノ税ノ性質、又賦課ノ方法、課税標準ノ決定等ニ付キマシテ十分慎重ヲ審査ヲ遂ゲマシテ、税ノ本質カラ見マシテ適當ナモノヲ許可スルヤウニ致シマシテ、之ニ依ッテ苛斂誅求ト云フヤウナコトノナイヤウニ十分注意ヲ致シタイト思ヒマス、ソレカラ地租、營業税、家屋税等ノ賦課標準ノ超過ノ場合ニ付テノ御意見デゴザイマスガ、現在ノ地租、家屋税等ヲ見マスト相當土地負擔等ガ過徴ニナッテ居ルノデアリマス、茲ニ數字ヲ申上ゲマスノト、所得税ノ方面ハ別ト致シマシテ、地租ニ付キマシテハ國稅、地方税ヲ通ジマシテ賃賃價格ノ百分ノ一二・一一ノ課税ヲ現在致シテ居リマス、改正後ニ於キマシテハ御覽ノ通り是ハ賃賃價格ノ百分ノ八ト云フコトニ限定ヲ致シテ居リマスノデ、比較致シマスレバ賃賃價格ノ百分ノ五・一一ハ土地課税ハ輕減セラレル譯デアリマス、尙家屋税ニ付キマシテハ、地方税ト致シマシテ現在賃賃價格ノ百分ノ八・三三ガ課税セラレテ居ルノデアリマスガ、改正法ニ依リマス標準率ハ百分ノ七ニナッテ居リマシテ、一・三三ノ輕減ニナル譯デアリマス、デ、之ヲ目度ト致シマシテ課税致シマシテ、十五年度ノ稅收入總額ガ大體十億三千二百萬圓ト見マシテ、ソレヲ賄フヤウナ形ニナッテ居リマス、將來之ニ伸縮力ヲ持タセマシテモ急ニ負擔ノ過徴ニナルコトハナイト考ヘテ居リマスガ、

此ノ百分ノ百又ハ百分ノ二百ヲ超過致シマス課税ニ付キマシテハ、十分監督官廳ニ於キマシテ其ノ事情又地方團體ノ財政狀態等ヲ考慮致シマシテ、監督上遺憾ノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○伯爵橋本實斐君 了承致シマシタ

○柴田兵一君 第十條ノ道府縣配付税ハ總額ノ百分ノ六十二、市町村配付税ハ總額ノ百分ノ三十八トナッテ居リマスガ、其ノ割合ハドウ云フ根據ニ依ッテ算出セラレマシタカ

○政府委員(橋間茂君) 只今御手許ニ差上ゲマシタ資料ノ一番最後ノ表ヲ御覽戴キマス、地稅第三十八條ト云フ表ヲ御覽ニナリマシテ、御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、之ニ依リマス、現行制度ニ於キマシテノ昭和十五年度地方稅收入見込總額ハ、道府縣、五億一千四百萬圓、市町村ハ四億七千五百萬圓トナッテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテ今度ノ改正法ヲ適用シテ此ノ稅源ヲ確保サセルコトニ致シタノデアリマスガ、此ノ改正法ニ依リマシテ、附加税ト獨立稅トガ合セマシテ、道府縣デハ一億六千五百萬圓、市町村デハ三億七千二百萬圓トナルノデアリマス、ソコデ道府縣ニハ更ニ還付稅ガ一億二千五百萬圓ゴザイマス、此ノ總額、即チ道府縣ニ於キマシテハ、二億九千萬圓ト云フヤウナ獨立稅源トシテ入ル譯デアリマス、ソコデ其ノ殘額ヲ配付稅トシテ配付スルコトニナル譯デアリマスガ、實ハ市町村ハ道府縣ヨリモ團體ノ事情等ガ非常ニ區々デアリマスノデ、其ノ財源確保ノ意味カラ致シマシテ、多少市町村ニアル配付稅ノ財源ヲ委讓シテ置ク必要ガアルト思ヒマシテ、大體二千萬圓程度ヲ市町村

村ニヨリヨク認メルコトニ致シタノデアリマス、斯様ニ致シマシテ配付稅總額ハ道府縣ニ於キマシテ二億三百萬圓、市町村ニ於キマシテ一億二千四百萬圓ニナリマシテ、兩者ヲ合セマス、道府縣ガ四億九千三百萬圓、市町村ガ四億九千六百萬圓ト云フコトニナルノデアリマシテ、此ノ二億三百萬圓ト一億二千四百萬圓ト云フモノガ、平年度ニ於ケル配付稅ノ總額デアリマス、丁度總額ニ對シテ此ノ率ガ六十二ト三十八ト云フコトニナッテ參ッテ居ル譯デアリマス

○柴田兵一君 此ノ表ニアリマス課稅ガ將來變ッテ場合ニハ、矢張り此ノ割合モ御變更ニナラナクテモ宜シイノデゴザイマスカ

○政府委員(橋間茂君) 是ガ今日迄ノ道府縣ト市町村トノ財政上ノ必要ヲ考慮致シマシタ結果ト考ヘテ居リマスノデ、將來ニ於キマシテ、此ノ配付稅ニ自然増收等ガゴザイマスレバ、此ノ形ニ於テ兩方トモ膨レテ來ルト云フ結果ニナルト思フノデアリマス、率ハ此ノ儘デ進メテ參ル積リデアリマス

○男爵紀俊秀君 此ハ此ノ地方稅ノ全般ニ付キマシテ、大體大變良ク出來テ居ル法案ダト思フノデアリマス、唯衆議院デ市町村民稅ノ修正ヲサレタ、是ハ私ハ寧ろ改惡デナカラウカト迄思フノデアリマス、折角市町村民稅ト云フモノヲ起サレテ、戶數割ト云フモノヲ廢セラレタ、サウシテ戶數割ノ長所ヲ生カシテ、惡所ヲ盡ク除却セラレタト云フノデ、大層此ノ市町村民稅ノ新設サレタト云フコトハ、私ハ大變結構ノコトト思ヒマス、而モ最高額ヲ決メマシテ、千圓ト一律ニ日本國中ノ人民ニ對シマシテ、之ヲ制限シタト云フコトモ大變結構ノコトト

思ヒマス、先刻モ內務大臣カラ御説明ノアリマシタ通りニ、標準ガ成ル程人口七十萬以上ノ市ニハ八圓、其ノ他ノ市ニハ六圓、町村ハ四圓、ソレニ人口ヲ乘ジテ行ク、納稅者ヲ乘ジテ行クト云フヤウニナッテ居リマスケレドモ、其ノ最高ハ矢張り抑ヘラレタト云フコトハ、是ガ市町村民稅ノ大變ニ大事ナコトナノデ、若シ此ノ最高ヲ決メナカッタレバ、戶數割ト同ジヤウナ結果ニ陥ルノデヤナカラウカト思フ、申セバ今度ノ市町村民稅ハ戶數割ト違ッテ其ノ市町村ニ住ンデ居ル者ガ市町村民タル故ヲ以テ、マア申セバ市町村會費ト申シマスガ、會費ノヤウナ性質ノモノヲ納メル、斯ウ云フ云フヤウナコトニ相成ルノデアリマスカラ、ドウシテモ此ノ最高額ト云フモノヲ一律ニ決メル必要ガアルト思フ、處ガ衆議院ノ修正ニ依リマス、サウデハナク二千萬圓、千五百萬圓、五百萬圓デシタカサウ云フヤウニ三段階ニ之ヲ決メラレタト云フコトハ是ハ如何ナモノデアリマセウカ、斯ウ云フ工合ニ矢張り最高額ニ差別待遇ト云ヒマスルカ、サウ云フヤウニ致シマスルト、是ハ將來又戶數割ト同ジヤウナ結果ニナル禍ノ因ヲ私ハ作ルノデヤナカラウカト思フ、特別ノ町ニ住ンデ居レバ二千萬圓デアアル、町村ニ住ンデ居レバ五百萬圓、斯ウ云フヤウナ工合ニ差別ヲ付ケテ行クト云フコトハ市町村民稅ヲ作ラレタ私ハ趣旨ニ反スルノデヤナカラウカト思ヒマスノデ、一律ニ千圓ト云フコトニ決メマシタノト、ソレカラ三段階ニ定メマシタノトハ自ラ立テ方ニ於テ趣旨ガ變ッテ來テ居ルノデスガ、之ニ對シマシテ政府ハ御同意ニナリマスデゴザイマセウカ、或ハ御反對デアリマセウカ、昨日ノ本會議ニ於

テ大藏大臣ガ若シ貴族院ニ於テ衆議院ノ修正ニ贊成スルヤウナレバ、其ノ意見ハ尊重スル、斯ウ云フヤウナ御答ノヤウニ承ツタノデアリマスガ、多分此ノ地方税モソレニ合マレテノ御答辯デアツタカト思フノデスケレドモ、私ハドウモ立テ方ノ根本趣旨カラハ是ハドウモ改悪ニナルノデ政府ハ是ハチヨット御贊成ニナルノハドンナモノカト私ハ思ヒマスノデスガ、其ノ點ニ付テ政府ノ御趣旨ヲ伺ツテ置キタイと思ヒマス

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 市町村民稅ヲ設ケマシタノハ、從來ノ戶數割ノ弊害ヲ除キ、其ノ長所ヲ取入レテ設ケタノデアリマスルノデ、從ヒマシテ政府原案ニ於キマシテハ、最高制限ヲ千圓ト致シマシテ、而シテ市町村ガ實情ニ應ジマシテ市町村條例ニ依リマシテ、之ヲ千圓以內ニ於テ適當ニ最高額ヲ定メルト云フコトニ致シタノデアリマス、主義カラ申シマスレバ全國一律ニ千圓ノ制限、最高制限ヲ置クト云フ事柄ガ理想的デアアル、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ衆議院ニ於キマシテハ只今申上ゲマシタ通りニ大都市、都市町村所得者ノ地位ガ大分ソコニ大ナル懸隔ガアリマスルノデ、此ノ懸隔ヲ無視スルト云フ事柄モドウデアラウカ、從ツテ此ノ大都市、都市、町村ニ於テ最高額ノ差等ヲ設ケルコトガ適當デアアル、斯ウ云フ意見デ此ノ修正ヲ致シタノデアリマス、考ヘテ見マスルト云フト、此ノ最高額ガ二十圓デ宜イカ、或ハ千圓デ宜イカ、一律ガ宜イカ、又三段ニ分ケルガ宜イカ、ハ深ク考ヘルベキ點デアラウト思ヒマスルノデ、紀男爵ノ御説ノ如ク政府ト致シマシテハ之ヲ一律千圓ト云フコトヲ以テ最善ナリト考ヘテ居ルノデアリマス

レドモ、併シ實際ノ有様カラ見マスルナラバ、此ノ三段階ニ分ケルコトモ之ヲ絕對ニ拒否スルト云フ強イ理由ヲ見出ダシ難イノデアリマス、殊ニ最高限度ガ定テ居リ、是ガ法律ニ依ツテ規定セラレテ居ルノデアリマスルカラ、此ノ最高限度ヲ無暗ト高メテ行クト云フヤウナコトハ十分ニ制限シテ行クトガ出來ルト思ヒマスノデ、從ヒマシテ戶數割ニ於テ現レタル如ク負擔ノ非常ナル不均衡ヲ來ス如キ虞ハナカラウト實ハ斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ政府ト致シマシテハ兩院ニ於キマシテ此ノ修正案ヲ可ナリト云フ結論ニ到達サル、場合ニ於キマシテハ、其ノ兩院ノ御意思ハ十分尊重シタイ、斯ウ實ハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵紀俊秀君 チョット政府委員ニ伺ヒタイノデス、先刻大臣ノ御説明デ、稅額五千圓デシタカ、ソレヲ抑ヘラレタノガ斯ウ云フ具合ニ御立テニナツタ一ツノ理由デアアル、斯様ニ承ツテ居リマス、サウシマス今度ノ衆議院ノ改正ニ依リマス、其ノ稅額ハドウ動クノデアリマセウカ、チョット其ノ金額ヲ承リタイ

○政府委員(林有造君) 此ノ稅總額五十萬圓ト云フコトハ今度ノ衆議院ノ修正ニ依リマシテモ變リハナイノデアリマス、ソレハ一方ノ制限デ、大都市ハ一人當リ八圓、ソレカラ市ガ六圓、町村ガ四圓トナツテ居リマスカラ、稅總額ハ此ノ方ノ計算デ行キマスノデ、上ノ納メタル人ガ、大所得者ガ高クナリ、都市デハ高クナルト云フダケデゴザイマス、稅額デハ變リハゴザイマセヌ

○男爵紀俊秀君 只今ノ內務大臣ノ御話ハ了承致シマシタガ、最高額ハ政府案ニ依リマス、併シ實際ノ有様カラ見マスルナラバ、此ノ三段階ニ分ケルコトモ之ヲ絕對ニ拒否スルト云フ強イ理由ヲ見出ダシ難イノデアリマス、殊ニ最高限度ガ定テ居リ、是ガ法律ニ依ツテ規定セラレテ居ルノデアリマスルカラ、此ノ最高限度ヲ無暗ト高メテ行クト云フヤウナコトハ十分ニ制限シテ行クトガ出來ルト思ヒマスノデ、從ヒマシテ戶數割ニ於テ現レタル如ク負擔ノ非常ナル不均衡ヲ來ス如キ虞ハナカラウト實ハ斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ政府ト致シマシテハ兩院ニ於キマシテ此ノ修正案ヲ可ナリト云フ結論ニ到達サル、場合ニ於キマシテハ、其ノ兩院ノ御意思ハ十分尊重シタイ、斯ウ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 政府ト致シマシテハ原案ヲ支持シテ居ルノデアリマス、併シ衆議院ニ於キマシテ此ノ修正ガアリマシタノデ、此ノ修正モ絕對ニ之ヲ拒否シテ行クト云フダケノ理由ガナイノデアリマス、ソコデ貴族院ニ於キマシテ此ノ修正ヲ可ナリト云フ結論ヲ得ラレマスナラバ、政府トシテハ兩院ノ意思ヲ十分尊重シタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵紀俊秀君 モウ一ツ私同ツテ置キタイノデゴザイマスガ、是ハ私ハ伺ヒ違ツタカモ知レスト思ヒマスケレドモ、昨日ノ御説明ノ中ニ義務教育費ノ教員俸給デアリマスガ、教員ノ俸給ハ六大都市ニ限ツテ當該市長ヲ經テ支給スル積リデアアル、ソレハ內申權ガ六大市長ニアルカラ、其ノ內申權ガアル爲ニ當該市長ヲ經テ支給スルコトニシタト、斯ウ云フヤウニ伺ツタノデス、是ハ私ノ考ヘ違ヒカモ知リマセヌケレドモ、市ハ總テ市長ニ內申權ガアルノデハナカラウカ、六大都市ニ限ツテ內申權ガアルノデヤナカラウ、若シ內申權ト云フコトガ理由ニナツテ、當該市長ヲ經テ支給スルト云フコトニナルノデシタラ、市ハ全部內申權ヲ持ツテ居ルノダカラ……町村ハサウデヤナイカラ府縣デ支給シマスケレドモ、市ハ全部內申權ヲ持ツテ居ルノダカラ、當該市長ヲ經テ支給スルト云フコト

ニナリハシナイノデセウカ、其ノ邊ハドンナモノデアリマセウカ、政府委員デモ大臣デモ、ドナラデモ結構デス

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 今回小學校教員ノ俸給ヲ府縣ニ於テ支拂フト云フコトニ致シマシタノハ、一面ニ於テ從來市町村ニ於テ小學校ノ設備、俸給等ヲ支拂シテ居タルノデアリマスケレドモ、紀男爵モ御承知ノ通り、貧弱ノ町村ニ於キマシテハ、教員ノ月給不拂ト云フヤウナコトモアリ、又其ノ俸給ヲ他ノ費目ニ流用スルト云フヤウナ弊害モアリマシテ、從ヒマシテ此ノ優良ナル小學校教員ヲ得ルコトガムヅカシクナッテ參ッタルデアリマス、ソコデ今回ハ財政力ノ強イ府縣ニ移シマシテ、相當教員ノ優遇ノ途モ講ジラレ得ルコトニ致シ、旁、地方ノ小學校ノ教育上ニ付キマシテ好影響ヲ與ヘルデアラウト云フコトデ、今回府縣ニ移シマシタルデアリマス、然ルニ從來ハ都市ニ於キマシテハ、教員ヲ採用スル場合ニ之ヲ府縣知事ニ内申スルコトニナッテ居ルノデアリマス、今回ハ都市全部ニ互リマシテ此ノ俸給ヲ支拂フ委任スルト云フコトニナリマスルト云フト、從來ノ弊害ヲ更ニ繰返ス場合モアリマスノデ、此ノ六大都市ノ如キ、財力ニ於テ、又教育機關ニ於テ充實シテ居リマスル其ノ都市ニ限リマシテ之ヲ仕拂フナスコトヲ委任スルト云フヤウナ形ヲ取リマシタルデアリマス、尤モ是ハ六大都市ノ豫算ニ之ヲ組入ル、ニアラズシテ、府縣カラ俸給ヲ支拂ヒマス場合ニ、六大都市ノ市長ヲ經由シテ支拂フト云フコトニ致シタルデアリマス、現ニ此ノ間モ衆議院ニ於テ話ガアリマシタルデアリマサルガ、東京市ノ如キハ非常ニ教育ニ對ス

ル機關ガ充實シテ居リマスルノデ、府縣ノ方ガ却テ劣ッテ居ルト云フヤウナ實ハ事情デアアルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ教育機關ノ十分整ッテ居リマスル六大都市ノ特異性ヲ尊重致シマシテ、特別ノ取扱ヲスルト云フコトニ衆議院ニ於テ希望ヲ致シテ居リ、而シテ此ノコトヲ勅令中ニ規定シテ貫ヒタイト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、何故勅令ニ之ヲ規定シテ與レト云フノカト思ッテ、衆議院ノ意嚮ヲ聽イテ見マスルト言フト、政府ハ往々ニシテ約束シテモ實行シテ與レナイ場合ガアルカラ、勅令ニ依ッテ規定シテ與レト、斯ウ云フ意味トモウ一ツハ勅令ニ依ルニアラズンバ此ノコトヲ規定スル方法ガナイノデアリマスルノデ、規定スレバ、之ヲ勅令ニ依ッテ規定スルト云フコトガ穩當デアアルノデアリマス、サウ云フヤウナ事情デ、政府ト致シマシテハ、全般的ニ俸給ハ府縣ニ於テ直接ニ仕拂フト云フコトヲ主張スルノデアリマスルケレドモ、併シ此ノ六大都市ノ特異性ヲ重ンジマシテ、六大都市ニ限リマシテ此ノ俸給ヲ市長ヲ通シテ仕拂フト云フコトハ已ムヲ得ナイモノナリト、斯ウ云フ風ニ認メタルデアリマス

時迄此ノ問題ハ御留保ニナッタ方ガ宜クハナイノデアリマセウカ、サウ云フヤウナ問題ガ澤山地方制度ノ改正ヲナサル時ニ出テ來ルダラウト思フ、其ノ時ニ御出シニナリマシタラ、總テノ問題ノ連絡モソレニ依ッテ出來マセウシ、其ノ方ガ便利デモアリ、其ノ方ガ徹底的ニヤレルノデヤナカラウカト思フノデス、道府縣ニ教員俸給ヲ支給サスト云フコトハ私豫テノ持論デスシ、是ハ大變結構ナコトデ、良イコトヲ今度オヤリニナッタノデ、寧ロ遅ク御發表ニナッタノヲ憾ム位デアリマスケレドモ、此ノ問題ハ都制法案ナリ、或ハ六大都市法案ナリガ近イ内ニ御制定ニナルダラウト思ヒマスカラ、ソレ迄保留サレテ置イタ方ガ宜クハナイカ、若シソレ迄御待チニナルコトガ出來ナイノナラ、寧ロ市全般ニ對シテ六大都市ト同ジヤリ方ヲナサルノナラ別デスケレドモ、六大都市ダケ教育機關ガ整ッテ居リ、財政モ豐カダカラ、其ノ方ガ宜インデヤナイカト、斯ウ云フヤウナ御意見ニ只今承ッタルデスガ、成ル程教育機關ガ整ヒ、財政ハ豊富デアリマセウケレドモ、又或大都市ニ於キマシテハ教育上ノ問題ヲ惹キ起シタル所モ相當アリマシテ、俸給ヲ直接ニ其ノ都市カラ仕拂ハセル爲ニ、又相當ノ是迄嘗メマシタ苦シイ經驗モアリマスカラシテ、其ノ苦イ經驗ヲ再ビ之ニ依ッテ繰返スヤウナコトニ事實上ハ或ハナル市モ、市ト申シマスノハ大都市ニデアリマスガ、大都市ニ於テナキニシモアラズト云フヤウナ實驗モアリマスノデ、今暫ク地方制度ノ改善迄此ノ問題ハ保留セラレタ方ガ宜クハナイカト思ヒマスガ、之ニ對シテ内務大臣ハドウ御考ヘニナリマセウカ

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 昨日内申權ニ伴ッテ御話ヲ申上ゲマシタルハ、衆議院ノ意嚮ヲ御説明ヲ申上ゲタルデアリマス、成ル程御意見ノ通りニ都制等ノ問題ガ解決スルト同時ニ此ノ問題ヲ解決スルノガ宜インデヤナイダラウカ、ソレ迄待ッタル宜インデヤナカラウカト云フコトモ一應ノ御意見ト思フノデアリマスケレドモ、此ノ實際ノ事情カラ見マスルト云フト、此ノ六大都市ハ只今申上ゲマシタル他ノ町村トハ一段ノ特異性アリマスルノデ、此ノ六大都市ニ限リマシテハ俸給ヲ仕拂フ市長ヲ經由シテヤルト云フコトニ付テハ、此ノ際實行シテモ差支ナイデアラウト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、一般都市ニ對シマシテハ其ノ實際ノ事情カラ鑑ミマシテ、必ズシモ全般的ニ之ヲ行フト云フ事柄ニ對シテハ躊躇シナケレバナラス點ガ多クアリト思フノデアリマス、此ノ際ハ六大都市ニ限リマシテ此ノ仕拂ヲ委任スルト云フ事柄ガ適當ナルモノデアラウト、斯ウ云フ風ニ政府ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○委員長(子爵前田利定君) 時間モ正午ニナリマシタカラ、午前ハ是デ會議ヲ閉ヂマシテ、午後ハ一時半カラ開始スルコトニ致シタイト思ヒマス、御異議ガナケレバ左様致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵前田利定君) デハ午前ハ是デ休憩ニ致シマス

午後一時五十八分休憩

午後一時四十一分開會

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、午前ニ續行致シマシテ御質疑ノ

アル方ハ御質疑ヲ願ヒタイと思ヒマス、大臣ハ二時迄ハ此ノ席ニ居ラレルサウデアリマスカラ、若シ大臣ニ御質疑ガゴザイマスナラバ、先ニソレヲ御願ヒ致シタイと思ヒマス

○柴田兵一 郎君 分與税ノ解釋ニ付テ午前ニ於ケル政府委員ノ御答辯ニ尙釋然タラザルモノガアリマスカラモウ一度御願ヒシタイと思ヒマス、ソレハ一體分與税ハ國稅デアルヤ地方稅デアルヤ明確ナル御答辯ヲ御願ヒシタイと思ヒマス

○政府委員(狹間茂者) 分與税ハ總テ地方稅デアルト云フコトニナツテ居リマス

○柴田兵一 郎君 サウ致シマス分與稅法ニアリマス此ノ第一條ノ「還付稅及配付稅ヲ以テ地方分與稅トシ還付稅ハ道府縣ニ、配付稅ハ道府縣及市町村ニ對シテ之ヲ分與ス」トアリマスルガ、是ハ國家ガ分與スルト云フ意味ダラウト思ヒマスルガ、從ッテ國稅トシテ國家ガ一旦徵收シテ、ソレヲ分與スルト云フコトニナルト思ヒマスルガ、其ノ點ニ付テ御答辯ヲ得タイ

○政府委員(狹間茂者) 只今迄ノ稅ノ觀念ハ多少此ノ分與稅ト云フモノノ觀念ト違ッテ居ルノデアリマシテ、從ッテ獨立稅附加稅ニ對應シマシテ分與稅ト云フ新ラシイ觀念ヲ揭ゲテ居ルノデアリマスガ、此處ノ第一條ニ揭ゲテ居リマスヤウニ、還付稅、配付稅ト云フモノガ地方分與稅デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、從ヒマシテ所得稅、法人稅等ガ配付稅デアリマスガ、其ノ點ハ第二條ニ地租、家屋稅及營業稅ノ徵收額全部ガ還付稅トナリ、所得稅、法人稅、遊興飲食稅、入場稅ノ一定割合ガ配付稅トナル、唯其ノ形ニ於キマシテ、國ノ力ニ依ッテ一定ノ配付

方法ガ……配分方法ガ定リマシテ、其ノ標準ノ下ニ配付セラレルト云フ間ノ手續ガ一ツ入リマスケレドモ、國ガ地方稅タル部分ノ法人稅トカ、或ハ所得稅、地租、營業稅等ヲ全部國ガ間ニ立ッテ間接ニ課徵ヲ致シマシテ、サウシテ、其ノ分與ノ方法ニ付キマシテハ其ノ間ニ色々ノ手續ガ入リマスガ、其ノ過程ヲ全體ヲ通ジテ見マシテ、斯様ナ方法ニ依ッテ、地方ノ財源トシテ入リマス形ヲ分與稅ト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○柴田兵一 郎君 サウ致シマスルト、市町村ニ於テ豫算ニ計上スル場合ニハ地方稅トシテ計上シテ差支ナイノデスカ

○政府委員(狹間茂者) 其ノ通りデゴザイマシテ、國稅附加稅、府縣稅附加稅、ソレカラ各種ノ獨立稅、地方分與稅、配付稅ト云フ風ニ款項ガ決定スルコトニナツテ居リマス

○宇佐美勝夫 君 チョット御尋ネシタイノデアリマスガ、分與稅法案ノ第十五條ノ第二項ニ、此ノ災害土木費負債額ノ十五分ノ一ヲ控除ス、トアリマスガ、其ノ控除スルコトハ即チ第一種配付稅デアッテ、サウシテ課稅ノ標準ニナツテ居ル、其ノ十五分ノ一ト此處ニアリマスノハ、何カ理由ガアルト思ヒマスカラ、其ノ御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ其ノ次ニ第十六條ノ割増人口ノコトガ書イテアリマスガ、此ノ割増人口ヲ斯ウ云フ風ニ規定サレタル理由ハ何處ニアリマスカ、其ノ御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス、第三ニ此ノ地方分與稅ナルモノハ各團體ニ依リマシテ、其ノ額ガ違ヒマスガ、又年々其ノ額ハ動イテ行クト思フノデアリマスルガ、ソレハ各團體ガ其ノ分與額ヲ表示シ得ル時期ハ、ドウ云フ時期デアリマスカ、其ノ御説

明ヲ願ヒタイ

○政府委員(狹間茂者) 御尋ノ第一點ノ此ノ災害土木費負債額ヲ其ノ十五分ノ一ト致シマシタノハ、大體此ノ課稅力ヲ見マス場合ニ、災害債ノ多イ縣ハ、ソレダケ償還ヲ致ササケレバナラスカラ、課稅力ガ其ノ程度ニ於テ減ジテ居ルト見ルノガ適當デアリスルヲ思フノデアリマス、從ッテ今度ノ單位稅額ノ計算ニ付キマシテハ、土木費負債額ヲ控除スルト云フコトニ致シタノデアリマス、是ハハドノ程度ヲ控除スルカト申シマス、見込トシマシテハ、毎年度ニ於ケル元利償還額ヲ控除スルト云フ積リデアリマス、此ノ計算ヲ致シマシタノハ、道府縣ノ災害土木費ノ負債ガ大體三十箇年ノ償還期限デアルト云フ風ニ考ヘマシテ、サウシテ其ノ中デ起債ノ借入ヲ致シマシテ、間モナイモノ、又既ニ償還完了ノ時期ガ接近シテ居ルカト云フヤウナ色々ノモノガゴザイマスカラ、ソレヲ大體平均シテ考ヘマスルト、負債總額ノ十五分ノ一ノ程度ガ、毎年度ニ於ケル償還元金デアルト云フヤウニ考ヘマシテ十五分ノ一ニシタノデアリマス、ソレカラ第二ノ割増人口ニ付キマシテハ、人口ヲ其ノ儘ニ用ヒマスト、人口ノ少ナイ府縣デアリマシテモ、事務ハ大體一律ニト申シマスガ、全ク人口割合ニ事務ノ大小ガアル譯デゴザイマセスカラ、人口ノ小ナル所デモ財政事情ハ相當アルト思ハレル、從ッテサウ云フコトヲ救済致シマス爲ニ、第一ニ此ノ三十萬ヲ加ヘルト云フコトニシタノデアリマス、其ノ三十萬ト云フ數字ハ全國ノ道府縣ノ人口平均ガ百五十萬デゴザイマスカラ、其ノ五分ノ一ヲ加ヘルコトニ致シマシタ、ソコデ其ノ結果トシマシテ、例ヘバ鳥取縣ノ如キ、人口

ガ五十萬前後デゴザイマスガ、ソコヘ三十萬ガ加リマス、非常ニ其ノ分與ノ率ガヨクナルノデス、ソレカラ東京府ノ如キ、非常ニ人口ノ多イ所ニ三十萬ガ加ハレバ其ノ作用スル率ガ少クナル、ソコデ大體ノ財政事情ト云フモノガ割増人口デ餘程實際ニ近付クデアラウト云フノガ第一號デゴザイマス、ソレカラ第二號ノ問題デスガ、是ハ小學校兒童、詰リ小學校ニ關スル費用ト云フモノハ地方負擔ノ大キナ部分デゴザイマス、從ッテ小學校ノ兒童ガ非常ニ多イ所ニハ、非常ニ財政事情ガ大キイモノトシテ、分與額ヲ多クスル必要ガアル、ソコデ全國ノ平均率ヲ超過シタ府縣ニ於キマシテハ、其ノ超過ノ數ニ應ジマシテ一定ノ數ノ人口ニ加ヘルト云フコトニシテ、實際ノ財政事情ヲ割増人口デ表示サセルト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ第三ノ點ハ、毎年分與稅ノ額ハ變ッテ參リマス、ソコデ府縣ナリ市町村ガ豫算ヲ組ミマスノハ、府縣デハ秋頃ニナリマスシ、市町村デハ冬ニ組ムコトニナリマスカラ、其ノ前ニ於テ翌年度ニ於ケル分與稅ノ額ヲハッキリト示シテヤリタイト思ヒマス、大體見込トシマシテハ八九月頃迄ニ翌年度ノ配付稅ノ決定額ヲ通知スルコトニ致シタイと思ヒマス

○宇佐美勝夫 君 御趣意ハ分リマシタガ、十五分ノ一控除スレバ均衡ヲ得ル、斯ウ云フ御話デスネ、ソレガ一ツデゴザイマス、ソレカラ三十萬ト押ヘタ理窟ハドウ云フ譯デアアルノデスカ

○政府委員(狹間茂者) 十五分ノ一ト押ヘマシタノハ、大體先程申上ゲマシタヤウナ理由デ各年度ニ於ケル元本ノ償還額ガ十五分ノ一程度ニナツテ居リマスノデ、十五分ノ

第四部第二二類 地方稅法案特別委員會議事速記第二號 昭和十五年三月十九日

貴族院

一一

一ト致シタノデアリマス、ソレカラ三十萬ト致シマシタノハ、各道府縣ノ平均人口ノ五分ノ一、是ハ市町村全部左様デゴザイマスガ、五分ノ程度ヲ加ヘルト云フノデアリマシテ、理論的ノ根據ガ必ズシモアル譯デハナイノデゴザイマスガ、縣デ申シマス鳥取縣アタリハ是デ五割ヲ増スト云フコトニナツテ居リマス

○宇佐美勝夫君 サウスルト此ノ割増人口ト云フモノハ大體ノ所ヲ押ヘラレテ先ツ五分ノ一ナラバ宜イ、斯ウ云フ御見込ナンデスネ

○政府委員(揆間茂君) 左様デゴザイマス

○宇佐美勝夫君 ソレカラ今各團體ノ知り得ル分與額ハ八月頃ト云フソレハ大變結構ト存ジマスガ、一體八月頃ニ配付稅ガ何ボアルカト云フコトハ分ルノデセウカ、ソレハ此ノ第六條ヲ見マス「前項ノ規定ニ依リ分與スベキ配付稅ノ額ガ前年度ニ於ケル分與額ノ百分ノ百十」ト云フコトガアリマスガ、サウスルト、七八月頃ニアッテハ、マダ配付稅ノ額ハ、前年度ニ於ケル分與額ト云フモノハ、其ノ頃ハ分ルノデセウカ

○政府委員(揆間茂君) 御心配ノヤウナ點ヲ考慮致シマシテ、分與稅法ノ第六條ノ第一項ニ掲ゲテ居リマスヤウニ、毎年度分トシテ分與スベキ配付稅ノ額ハ前々年度ニ於テ徵收シタル所得稅及法人稅、其ノ他ノ稅ノ一部分ト致シテ居ルノデアリマシテ、實ハ成ルベク近い年度ノ稅收入ヲ分與スルノガ適當ト思フノデアリマスガ、今御話ノヤウナ點ガゴザイマスノデ、配付スベキ額ハ前年度ト云フコトニ致シタノデアリマス、即チ此ノ各地方團體ガ豫算ヲ組ミマス爲ニハ、其ノ前年ノ七八月頃迄ニハ其ノ當該年

度分ノ配付稅ノ總額ヲ知ラセル必要ガゴザイマス、前年度ヲ抑ヘマス、七八月頃迄ニ總額ヲ調ベマシテ、サウシテ配付稅ノ決定スルト云フコトガ困難デゴザイマスカラ已ムヲ得ズ前々年度ノ稅額ヲ抑ヘマシテ、ソレヲ翌々年度ノ配付稅ノ額トシテ配付スルト云フコトニ致シタノデアリマス、從ッテ其ノ前年度ノ七八月頃ニハ配付稅總額ト云フモノハハッキリト分ッテ居ル譯デアリマス

○宇佐美勝夫君 此ノ第六條ノ第二項ノ配付額ト云フモノハ、前ノハ徵收額デ、サウシテ第二項ハ其ノ前ニ配付シタル額、斯ウ云フ譯ニナリマスネ

○政府委員(揆間茂君) 左様デゴザイマス、第二項ハ割増ヲシテ配付スルノデアリマシテ、是ハ前年度デ何億配付シタルカト云フコトヲ見マシテ、次ノ年度ニハ其ノ額ヲ基準トシテ一割程度ハ増減ヲ認メルト云フコトニシテ居ルノデアリマス

○宇佐美勝夫君 此ノ分與稅規則ヲ見マス、或場合ニハ第四ノ分與ヲスルコトハアルノデスガ、此ノ第二ノ分與ハドウナリマスカ、第三ナント言ヒマスカ……

○政府委員(揆間茂君) 第三種配付額デゴザイセウカ

○宇佐美勝夫君 第三……

○政府委員(揆間茂君) 時期ハ年四期ニ分ケテ配付スルト云フダケデゴザイマシテ、別ニ變リハナイノデスガ……

○宇佐美勝夫君 第三、第四ト云フコトハアリマセスカ

○政府委員(揆間茂君) 第一、第二、第三、第四種ト云フノガゴザイマス

○宇佐美勝夫君 再分與スト云フコトガア

リマス、第十八條ニ「減額シタル額ハ殘額ヲ生ゼザルニ至ル迄前二項ノ例ニ依リ之ヲ再分與ス」、再分與ト云フト、一遍分與シテモ更ニ又其ノ餘ヲ分與スルコトガアリマスケ

○政府委員(揆間茂君) 十八條ハ、十七條ヲ承ケマシテノ規定デゴザイマシテ、十七條ハ獨立財源ガ非常ニ多イ團體ノアル場合ヲ想像シテ居リマス、此ノ十七條ノ如キ獨立財源ガ多イ團體ニハ一定ノ額以上ハ配付稅ヲ配付シナイコトニナルノデアリマス、配付シナイトソコニ剩餘ガ出來マスカラ、其ノ剩餘ハ十八條ノ規定ヲ適用シマシテ大體ノ人口ヲ標準トシテ、各道府縣ニ分ケル譯デアリマスガ、是ハ配付稅ノ配付ノ假定ノ問題デアリマシテ、斯ウ云フ計算ノ方法デ計算ヲ致シマシテ、各道府縣ノ配付額ヲ定メマシテ、サウシテソレヲ年四回ニ分ケテ配付スル譯デアリマス、是ハ計算ノ順序ダケヲ示シタノデアリマスカラ、分與ノ時期ニハ關係ゴザイマセス

○另當松平外與慶君 昨日ノ大臣ノ御説明デ非常ニ愉快ニ感ジマシタコトハ、今回ノ稅制ノ改革ニ伴ヒマシテ、警察費ノ連帶支辨金ノ支出ノ割合ノ増加ノコトデアリマス、御承知ノ通り、警察ハ今日ニ於テハ色々ナモノヲ持込マレテ居リマシテ、殊ニ經濟警察ガ出來マシテカラ、警察ノ事務ハ非常ニ多ク、又此ノ頃ハ少シ良クナリマシタガ、巡查ノ希望ガ從前ハ少カッタ、最近ハ非常ニ成績ガ好クナッタ、警察ノ事務ハ非常ニ劇シクナッタニモ拘ラズ、國庫カラ支給ノ額ト云フモノハ甚ダ薄カッタガ、今回御増加ニナツタト云フコトハ非常ニ結構ナコトト思ヒマスガ、將來ノコトヲ考ヘマシテ、大臣トシ

テ今回ノ増加ノ率位デ、當分行クカ、更ニ之ニ付テハ十分檢討スル御意思ガアリマスカ、此ノ際一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 國費ト地方費ノ分擔ノ問題ノ一部分ノ問題デアルノデアリマスガ、此ノ問題ハ今後研究スベキ種種ノ問題ガ實ハ殘ッテ居ルノデアリマスルガ、差當リ此ノ際ハ警察費等ノミヲ解決致シタノデアリマス、當分此ノ程度デ行クヨリ外ニ方法ハナイノカト、斯ウ思ッテ居リマス

○伯爵黒木三次君 只今宇佐美サンノ御質問ニ關聯シテ居リマスガ、配付ヲ受ケマシタ道府縣配付稅ノ算出方法、之ヲ一ツ御説明ヲ願ッたら、我々モハッキリスルンデヤナイカト思ヒマスガ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(揆間茂君) 此ノ配付稅ノ配付ノ方法ハ大體道府縣ソレカラ大都市、都市、町村何レモ同様デ、ゴザイマスカラ御手許ニ差上ゲテ居リマス道府縣ノ配付稅ノ算出方法ヲ代表的ノモノトシテ御説明申上ゲマス、條文ハ第十五條、此ノ第十五條ノ第一項、第二項、第三項ガ配付方法ノ規定デゴザイマシテ、第四項ハ國稅附加稅ノ額ヲドウ云フ所デ押ヘルカト云フ問題デ、第五項ハ北海道ト沖繩縣ニ關スル特例デゴザイマスカラ、是ハ除外致シマシテ、一般ノ場合ヲ申シマス、先ツ第一種配付額、第二種配付額、是ハ各道府縣配付稅總額ノ半額デゴザイマス、第一種配付額ニ付テ申上ゲマス、第一種配付額ハ第十五條ノ第一項第二項、第三項ヲ算術ノ式ニ書直シマスト一番上段ニアリマスヤウニ、第一種配付額ノ總額ニ、全道府縣ノ標準單位額カラ各道府縣ノ單位

税額ヲ控除致シマシテ、ソレニ人口ヲ乗ジマシタモノヲ一應求メマシテ、サウシテ其ノ數ヲ各道府縣ニ付テ算出ヲ致シマシタ標準單位稅額カラ各道府縣ノ單位稅額ヲ引キマシテ、ソレニ其ノ府縣ノ人口ヲ掛ケマシタ數ノ、各道府縣ノ數ガ出マスガ、其ノ總計ヲ以テ今申上ガマシタモノヲ割ッテ、ソレニ第一種配付額ノ總額ニ其ノ出來マシタ數ヲ掛ケタモノニ依ッテ、各道府縣ノ分與額ヲ決定スルノデアリマスガ、其ノ中各道府縣ノ單位稅額ハドウ云フ風ニシテ算出致シマスカタ云フ額ガゴザイマス、ソレニ各道府縣ノ國稅附加稅ノ額、要スルニ是ハ地租、家屋稅、營業稅ノ各道府縣ノ總額ト云フコトニナリマスガ、ソレヲ求メマシテ、ソレカラ各道府縣ノ國庫補助ニ依リマス災害土木費負債額ノ十五分ノ一ヲ控除致シマス、是ハソレダケ課稅力ガ減ジテ居ルト見ナケレバナリマセス、ソレダケノ稅ガ各道府縣ニ於テ取ラレル譯デアリマス、ソレヲ縣ノ人口割リマススト一人當リノ國稅ノ三收益稅ノ一人當リノ稅額ガ出ル譯デアリマス、是ダケハ詰リ配付稅以外ノ財源トシテ各道府縣ガ徵收シ得ル額ニナリマス、ソレカラ標準單位稅額ハ先ヅ全道府縣ノ還付稅額ヲ出シマス、ソレト全道府縣ノ國稅附加稅ノ額ヲ加ヘマス、更ニ配付稅ガアリマスカラ、第一種配付稅ノ總額ヲ加ヘマシテ、ソレカラ矢張り災害土木費負債額ノ十五分ノ一ヲ控除致シマシタモノガ、要スルニ全道府縣ヲ通ジテノ府縣財源總額ト云フコトニナリマス、ソレヲ全道府縣ノ人口割リマススト、一人當リノ稅總額ト云フモノガ茲ニ平均シ

テ出ルコトニナリマス、デ先程申上ガマシタヤウニ之ヲ基礎ト致シマシテ、先程申上ガマシタ方法各道府縣ニ對スル分與額ヲ決定スル譯デアリマス、之ヲ試算ヲ致シマシテ次ニ示シテ置キマシタカラ數字デ申上ゲタイ、茲ニ設例トシテ「エイ縣」「ビー縣」「シー縣」ト致シテ置キマシタガ、「エイ縣」ノ縣デハ還付稅ガ百六十萬圓アルト致シマス、ソレカラ國稅附加稅ハ百七十萬圓デアリマシテ、災害土木費負債額ガ六百萬圓、人口ガ「エイ縣」ハ百五十萬人ト、斯ウ假定致シマス、「ビー縣」ハ還付稅額ガ七十萬圓、ソレカラ國稅附加稅ガ七十一萬圓、災害土木費負債額ガ百五十萬圓デ、人口ガ五十萬人、ソレカラ「シー縣」ハ還付稅額ハ、還付稅ガ六百萬圓、國稅附加稅額ハ六百十萬圓、災害土木費負債額ガ七百五十萬圓デ、人口ハ二百五十萬人ト致シマシタ、全國ノ道府縣ノ還付稅總額ガ一億二千五百萬圓、ソレカラ國稅附加稅總額ガ一億二千八百萬圓災害土木費負債額ガ三億圓デアリマシテ、人口ガ七千萬人ト假定ヲ致シマシテ、是デ只今ノ試算ヲ致シテ見ルノデアリマスガ、此ノ際ニ道府縣配付稅總額ハ少シ違ヒマスガ、二億圓ト致シマス、第一種配付額ハ一億圓ニナル譯デアリマス、ソレカラ先ヅ各府縣單位稅額ヲ定メマスニハ、先程申上ガマシタヤウニ、此ノ百六十萬圓ト「エイ縣」デゴザイマスガ、百六十萬圓ノ還付稅、百七十萬圓ノ附加稅、之ヲ加ヘマシテ、サウシテ六百萬圓ト云フ災害負債ノ十五分ノ一ヲ控除致シマシテ、ソレヲ百五十萬人ニ割リマススト、「エイ縣」ノ單位稅額ハ一圓九十三錢ト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ「ビー縣」ハ今ノヤウナ計算ニ依リマス、

二圓六十八錢ト云フコトニナリマス、ソレカラ「シー縣」ハ四圓六十四錢ト云フコトニナル譯デアリマス、標準單位稅額、之ヲ一應單位稅額トシテ算出致シマシタ、ソレカラ標準單位稅額ハ此ノ還付稅總額一億二千五百萬圓、國稅附加稅一億二千八百萬圓ト、配付稅總額ニ二億圓ヲ加ヘマシテ、其ノ中カラ三億圓ノ災害負債ノ十五分ノ一ヲ引キマシタモノヲ七千萬人ノ人口割リマススト、標準單位稅額ハ六圓十八錢ト云フ數字ガ出ルノデアリマス、ソコデ今度分與額ヲ決定致シマシタノニハ、按分比例ヲ用ヒルノデアリマス、按分比例ヲ用ヒマス基礎數字トシマシテ、第四號ノ各府縣ノ單位稅額ガ標準單位稅額ニ不足スル額ガ各府縣ニ付テ出マスガ、ソレニ人口ヲ乘ジマシタ總和ガ二億二千萬ト云フコトニナルノデアリマス、ソコデ七ニ還リマシテ、各府縣ハ按分ヲ致シマススト、此ノ計數ニ依リマシテ一億圓ガ第一種配付額デゴザイマス、此ノ一億圓ヲ全道府縣ノ單位稅額ガ標準單位稅額ニ不足スル額ニ人口ヲ乘ジマシタ其ノ總額ヲ以テ各府縣ノ此ノ單位稅額ニ人口ヲ掛ケマシタモノヲ割リマススト、一人當リドレダケノ稅額ヲ與ヘレバ宜イカタ云フモノガ出マスカラ、ソレニ對シテ第一種配付額ノ總額ヲ掛ケマススト、茲ニ「エイ縣」「ビー縣」「シー縣」ニ付キマシテ幾ラノ分與ガ入ルカタ云フコトガ出ルノデアリマシテ、ソレニ依リマススト、「エイ縣」ハ二億八十九萬七千圓、「ビー縣」ハ七十九萬五千圓、「シー縣」ハ百七十五萬圓、斯ウ云フ配付稅ヲ分與スルト云フ數字ガ出テ來ル譯デアリマス、ソレカラ第二種配付額ノ算定方法ヲ申上ゲマス、第二種配付額ハ十六條ニ規定シテ居リ

マスガ、十六條デ即チ割増人口ヲ用ヒテ配分スルノデゴザイマス、デ之ヲ表デ示シマス各道府縣ニ對スル分與額ハ、第二種配付額ニ對シテ各道府縣ノ割増人口ヲ全道府縣ノ割増人口ノ總和ヲ以テ割リマシテ、一人當リドレダケノ額ヲ各道府縣ニ於テ貰ヒ得ルカタ云フ數ガ出マスカラ、ソレヲ第二種配付額ニ乘ジマシテ、茲ニ各道府縣ニ於ケル第二種配付額ガ算出出來ル譯デアリマス、其ノ當該道府縣ノ割増人口ハ次ニ掲ゲテアリマスヤウニ、人口ニ三十萬ヲ加ヘマスノト、ソレカラモウ一ツハ各道府縣ノ人口ヲ以テ、其ノ道府縣ノ小學校ノ兒童數ヲ割リマススト一人當リノ小學校兒童數ガ出マス、全國ノ人口ヲ以テ全國ノ小學校兒童數ヲ割リマシテ、サウシテソレヲ前ノ各道府縣ノ人口一人當リノ小學校兒童數カラ減ジマシタモノニ各道府縣ノ人口ヲ掛ケマススト云フト、其ノ道府縣ニ於テドレダケノ小學校兒童ガ各府縣ヨリ超過シテ居ルカタ云フモノガ出マス、ソレヲ四倍シマシタノガ之ヲ大體小學校費ニ要スル各府縣ノ額ノ半額ト假定シテ、ソレヲ割増シテヤルト云フノデ四倍ニシタノデアリマスガ、ソレヲ詰リ四倍致シマシテ是ガ各道府縣ノ割増人口ニナル譯デアリマス、ソレデ試算ヲ致シマシテ次ニ御説明申上ゲタイノデアリマスガ、小學校兒童數ト人口トヲ、「エイ縣」ハ二億八十九萬七千圓、人口ハ五十萬、兒童數ニ二萬五千人、サウスルト人口ヲ以テ其ノ兒童數ヲ割リマススト〇・一五ト云フモノニナリマス、「ビー縣」ハ人口五十萬、兒童數ガ七萬二千トシマススト〇・一四四ト云フ數字ガ出マス、「シー縣」ハ人口二百五十萬人、兒童數三十五萬トシマススト〇・

一四ト云フモノガ出マス、全國ハ七千萬ノ人口デアリマシテ、兒童數ガ一千萬人アリマスカラ、一四三ト云フモノガ出ル譯デアリマス、之ヲ用ヒマシテ第二種配付額ガ一億圓デアリマスガ、ソレデ第三號ハ後ニシマシテ第四號デ「エイ」縣ノ割増人口ヲ割出シマスニハ先ヅ百五十萬ト云フ人口ニ三十萬ヲ加ヘマシテ、ソレデ〇・一五ト云フノガ此ノ縣ノ一人當リノ數字デアリマスガ、ソレカラ〇・一四三ト云フ平均ヲ引キマシテ、ソレニ其ノ縣ノ人口ヲ掛ケタモノノ四倍ヲ加ヘマスト一・八四二ト云フ數字ガ出ルノデアリマス、「エイ」縣ハ斯様ニシマシテ〇・八〇二、「シイ」縣ハ二・八〇〇ト云フ數字ガ出ルノデアリマス、百八十四萬二千、ソレカラ八十萬二千、ソレカラ二百八十萬ト云フ數字ガ出マス、ソレカラ各道府縣ニ、ソコデ分與致シマス場合ニハ、全國ノ道府縣ノ割増人口ノ總和ヲ算出致シマシテ、此ノ八千五百萬ト云フモノヲ各道府縣ニ出テ居ル百八十萬、ソレカラ八十萬、二百八十萬ト云フモノデ割リマスト、其ノ當該道府縣ニ於キマシテ、兒童一人當リニ付テドレダケノ割前ニナルカト云フ數字ガ出マスカラ、ソレヲ一億圓ニ乘ジマスルト、玆ニ割増人口當リ配付額ト云フモノガ幾ラニナルト云フ數字ガ出マシテ、ソレガ「エイ」縣ガ二百十六萬七千圓、「ビー」縣ガ九十四萬三千圓、ソレカラ「シー」縣ハ三百二十九萬四千圓ト云フ數字ガマア假想デゴザイマスガ出ル、十五條十六條ノ適用ニ依リマシテノ計算ガ、大體斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、ソコデ第一種配付額ガ、「エイ」縣ニ於キマシテハ二百八十九萬七千圓デアリマスカラ、是ト第二種配付額ノ二百十六萬七千

圓ヲ加ヘマスト、五百六萬四千圓、ソレカラ「ビー」縣ハ百七十三萬圓、「シー」縣ハ五百四萬四千圓ト云フモノガ、配付税トシテ配付サレルト云フ試算ノ數字ガ出ル譯デアリマス、計數ガ少シ込入ッテ居リマスノデ、御説明申上ゲタノガ多少御分リニクカッタカト存ジマスガ、大體表デ示シマス、斯ウ云フヤウナ算出方法ニナル譯デアリマス
○宇佐美勝夫君 御説明デ大體了解シテ居リマスガ、是ハ全國ノ市町村ニ分チ、ソレカラ縣ニ分ッテ隨分手數ガ伴ヒマスガ、併シ此ノ豫算額ヲ知ラナケレバ、自治體ノ經營ヲ爲スニ非常ニ困難ヲ生ズルコトト思フノデアリマス、從ッテ此ノ運用ノ上ニハ餘程注意セヌト、私ノ考デハ今回ノ地方税制度ト云フモノハ色々ノ非難ガ起ッテ來ハシナイカト云フコトヲ心配スルノデスガ、是ハ各地方團體毎ニ此ノ計算ヲシテ御示ニナルノデセウナ
○政府委員(挾間茂君) 是ハ非常ニ面倒デゴザイマスガ、各地方團體毎ニ今申上ゲマシタヤウナ府縣ハ府縣、市町村ハ市町村ト云フ數字ヲ出シマシテ、分與額ガ決定スル譯デアリマス、其ノ爲ニ内務省ニ此ノコトヲ専門ニヤリマス課ヲ設ケ、ソレカラ地方ニモ必要ナ組織ガ府縣廳ニ設ケラレルコトニナッテ、専門ニ扱フコトニスル豫定デゴザイマス
○堀切善次郎君 只今ノニ關聯シマシテ、人口トカ兒童數トカ云フノハ、何時ノドウ云フ調査ヲ押ヘラレマスカ
○政府委員(挾間茂君) 人口ハ國勢調査ノ人口ヲ押ヘマシテ、兒童數ハ毎年調査ヲ致シマス
○堀切善次郎君 兒童數ノ毎年ト云フノ

ハ、矢張り前々年度ニナリマスガ、其ノ當該年度ニナリマスカ
○政府委員(三好重夫君) 兒童數ハ只今ノ所毎年度一回調査致シテ取リマスガ、或ハ國勢調査ノ當時ノ人口ニ合シテ取リマスガ、研究ヲ致シテ居リマスガ、若シ毎年度取ルコトニ致シマスレバ、六月頃ノ調査ニ依ラウカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソウシテ其ノ數ハ、前々年度ノ數ニ依ル積リデゴザイマス
○堀切善次郎君 ソレカラ、御説明ハアリマシタノデスガ、十六條ノ末項ノ割増人口ニ伴フ兒童數ノ比率ヲ掛ケルト云フノハ、其ノ數ノ四倍、即チ四ヲ掛ケルト云フノハドウ云フ理窟ニナリマスカ
○政府委員(挾間茂君) 是ハ兒童數ガ全國大體千萬人居リマシテ、道府縣デ負擔シマス經費ガ一億圓デゴザイマスカラ、兒童一人當リニ付テ府縣ハ十圓ヲ負擔シテ居ル譯デアリマス、大體其ノ半額ヲ是デ見ルト云フコトニ致シタノデアリマス、此ノ人口ニ對スル一人當リガ一圓二十錢位ニナル、一人當リ一圓二十錢ヲ用ヒマシテ、此ノ十圓ノ半分ヲ……假想デゴザイマスガ、割増シスルト云フコトニシマス、一圓二十錢ニ四ヲ掛ケテ四圓八十錢、大體半分ニナリマスノデ、サウ云フ計算ノ下ニ四倍ト云フコトニシタノデアリマス
○松村義一君 今ノ御説明ハ能ク分リマセヌガ、モウ少シ詳シク説明シテ戴カスト分リマセヌ、今ノ堀切君ノ質問ニ對スル御答ハ、説明員デモドナタデモ能ク御分リニナッテ居ル方カラ説明シテ戴クノガ便利ト思ヒマス
○政府委員(挾間茂君) ソレデハ他ノ政府

委員カラ申上ゲマス
○政府委員(三好重夫君) 只今ノ御尋デゴザイマスガ、小學校兒童數ノ關係ヲ何故割増人口ニ見タカト云フ、其ノ理由カラ申上ゲル必要ガアルカト思フノデゴザイマス、小學校兒童數ガ全國ノ平均ヨリモ澤山居ル所ハ、何分ニモ教育費ノコトデゴザイマスカラ、ソレダケニ道府縣ノ經費ガ澤山掛ル、從ッテ澤山掛ルト云フコトハ、言ヒ換ヘレバ財政事情ヲ此ノモノガ表現シテ居ルト見ナケレバ相成リマセヌノデ、從ッテ財政事情ヲ表現スベキ人口ニ加算シナケレバナラヌト云フコトニ相成リマス、ソレデハドノ程度ヲ加算シタラ宜イカト云フ問題デゴザイマスガ、是ハ案ニ依ッテ色々ノ立テ方モゴザイマセウガ、只今局長ガ申上ゲマシタヤウニ、全國ノ小學校兒童ノ道府縣ガ持チマス教育費ノ一人當リ平均ト云フモノハ、大體十圓ニ當ッテ居ルノデゴザイマス、即チ教員俸給ガ約二億圓、小學校兒童數ガ約一千萬人デゴザイマスカラ、一人當リハ二十圓ニ相成リマスガ、此ノ内半額ハ國庫ヨリ廻ル金デゴザイマシテ、道府縣ノ負擔致シマス金ハ一億圓デアリマスカラ、從ッテ一人當リ十圓ト云フコトニ相成ル譯デアリマス、其ノ十圓ヲ小學校兒童數ノ割増ニ於キマシテ、ドノ程度ニシタラ宜カラウカト、斯ウナリマスト、全然客觀ニ相成ルノデゴザイマスガ、併シナガラ普通ノ此ノ増割ヲ行ヒマセヌノデ行キマス金モ、此ノ教育費ニ充テ得ル金デアリ、又其ノ點ガ全人口ノ中ニ含マレテ居ル等デアリマスカラ、大體十圓ノ半額程度ヲ特ニ割増シテ配付シテ行ッタラ宜イデハナイカ、然ラバ其ノ半額程度ヲ配付致シマスニハ、如何ナル計數ヲ採ッタラ宜イカト

云フコトニナリマス、只今局長ノ申上ゲ
タ通り四倍スレバ宜シイ、何故四倍ニスレ
バ宜シイカト申シマス、此ノ第二種配付
額ノ割増人口一人當リノ配付額ガドノ位ニ
ナルカ、只今ノ計數デハ大體一人當リ一圓
二十錢位ニナルノデアリマス、一人當リ一
圓二十錢行クコトニナリマス、十圓ノ
半額ヲ見テヤルト云フコトニ致シマス爲ニ
ハ、五圓ヤレバ宜シイ、ソコデ五圓ヤルニ
付テハ、一圓二十錢ヲ四倍致シマス、四圓
八十錢デスカラ、略、睨ミ合フ數字ガ出テ
來ル、斯ウ云フコトデ四倍ト云フ基礎ガ出
テ來タ譯デアリマス

○中川望君 今ノニ關聯シタ問題デゴザイ
マスガ、今ノ兒童千萬人ト云フコトハ是迄
ノ數デアルト思ヒマスガ、又近キ將來ニ於
テ國民學校ニナルト云フヤウナコトデ、義
務教育年限延長ト云フコトニ依ツテ其ノ數
ガ増シテ來ルト云フコトニナルト、其ノ基
本ガ狂ッテ來ルコトニナリマスガ、ソレハ
ウ云フコトニナリマス

○政府委員(三好重夫君) 御尤ナ御尋デゴ
ザイマスガ、是ハ此ノ案ヲ立テマス當時ノ
豫想デサウ云フコトニ致シテ居ルノデゴザ
イマス、是ハ兒童數ノ増加、或ハ配付稅ノ
總額ノ異動ニ依リマシテ、御話ノヤウナ動
キガ自然生ジテ參リマス、併シナガラ大體
ニ於テハ此ノ半額ト云フコトハ的確ナ根據
ガアル譯デゴザイマセスカラ、四割乃至六
割ノ「フラクチュエーション」デ濟ムノデハ
ナカラウカ、斯ウ云フ豫想ヲ持ッテ居ル次
第デアリマス

○男爵松平外郎君 今ノニ關聯シテ、先
程ノ御説明ニ依ッテ人口ハ國勢調査ノ計數
ニ依ルト云フデスガ、國勢調査ハ毎年施

行サレルノデアリマセス、多少其ノ計數
ト云フモノハ古イ感ジガシナイカト思ヒマ
ス、的確ニ其ノ人口ノ異動ト云フモノガ御
分リニナレバ宜シウゴザイマスガ、餘リニ
國勢調査ト云フモノ一點張りダト、實際ノ
當該道府縣市町村ノ人口ノ正シイモノヲ擲
メナイノデヤナイカト云フ、是ハ私個人ノ
考デスガ、此ノ點ニ付テ一ツ御伺ヒシタイ
○政府委員(狹間茂君) 是ハ多少動キノア
ルコトハ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、團體
ノ廢置分合ガアツタ場合ハ、無論ソレデ府縣
知事ガ一定ノ計算法ニ基キマシテ人口ヲ
表示致シマスカラ、ソレニ依ルコトニナリ
マスガ、基礎數字トシマシテハドウモ外ニ
全國的ニ據ルベキモノガゴザイマセスカラ、
國勢調査ヲ押ヘルコトニシテ居リマス

○堀切善次郎君 此ノ配付稅ノ算出方法
ハ、段々伺ヒマシテ能ク分リマシタガ、ナ
カナカ複雑シテ、本當ニ的確ニ入り難
イノデスガ、是ハ尙只今ノ御説明ヲ能ク熟
考シテ見タイト思ヒマスガ、斯ウ云フ複雑
ナ計算法ニ依ラナケレバ、外ニ何カ簡單
明瞭ナ方法ハナイモノデセウカ、ソレカラ
斯ウ云フヤウナ非常ニ複雑シタ規定ニ依ッ
テノ配付ノ方法ト云フノハ、何カ先例カ、
或ハ之ニ倣ッタト云フヤウナ風ノ模範トナ
ルベキヤウナ例ガアルモノデアリマセウ
カ、如何デゴザイマスガ、ソレヲチヨット
御伺ヒシタイ

○政府委員(狹間茂君) 此ノ計算法ハ、
實ハズツト茲ニ掲ゲマシタノハ複雑ナヤウ
デスガ、極ク簡單ニ其ノ儘入ラレルヤウ
ニ……………、ソレカラ是ハ御存ジノ臨時地
方財政補給金ノ制度デゴザイマスガ、其ノ
形ハ違ヒマスケレドモ、大體觀念トシマシ

テハ同ジヤウナ方法デ既ニ財政補給金ノ算
出ヲ致シテ居リマスノデ、事務的ニハ相當
數ガ多イノデ面倒デゴザイマスガ、理窟ト
シテハ極ク簡單ニ參リマスノデ、アトハ手
數ダケノ問題デアルト考ヘテ居リマス
○伯爵橋本實斐君 大變細カイトコヲ伺
ヒマスガ、市町村稅ノ目的稅ト云フ中ノ都市
計畫稅、其ノ中デ主務大臣ノ許可ヲ受ケレ
バ新タニ稅目ヲ起シ得ル、斯ウ云フコトニ
ナッテ居ルヤウデゴザイマスガ、此ノ新タ
ナル稅目ト云フモノヲ凡ソ何カ御豫想ガゴザ
イマスノデスカ、若シゴザイマスレバ伺ッテ
置キタイト思ヒマス

○政府委員(狹間茂君) 是ハ將來ノ問題デ
ゴザイマシテ、此處デ如何ヤウナモノガア
ルカト云フコトヲハッキリ申上ゲ兼ネマス
ガ、例ヘバ土地増價稅ノ如キモノハ、此ノ
許可稅目ノ中ニ入レテ考ヘテ居ルノデ、唯
之ヲ取ルニ付キマシテハ、ナカノ課稅方
法ガムヅカシイノデアリマシテ、適當ナ方
法ガゴザイマスレバ、ソレヲ認メテ行ッタ
ト云フ風ニ考ヘマス

○伯爵橋本實斐君 的確ニ豫想ハ出來ナイ
ト云フ仰セハ御尤ト存ジマスガ、今例ニ御
舉ゲニナリマシタ土地増價稅ノ如キハ、好
箇ノ課稅目的カト思フノデアリマスガ、斯
ウ云フモノヲ御取リニナリマス、餘程租
稅收入ノ原則ノ目的ニハ合スルモノト思フ
ノデゴザイマス、之ヲ願出レバ必ズ御許ニ
ナルモノデゴザイマセウカ、從來ノ例ニ徴
シマシテ、市町村等カラ主務大臣ニ新タナ
ル稅目ヲ起スヤウナ出願デモゴザイマシタ
場合ニ、特別ノ理由ガナイ以上ハ大體御許
ニナッテ居ル例デゴザイマセウカ、如何デ
ゴザイマセウカ

○政府委員(狹間茂君) 是ハ一般ノ市町村
ノ獨立稅ニ付テモ同様ナ問題ガアルノデス
ガ、從來ノ方針トシテハ寧ロ餘リ許可シナ
イ方針デ進ンデ居ッタノデ、併シ今回ノ目的
稅制度ハ、成ルベク擴充シテ實際ノ地方ノ
施設ノ進展ヲ圖リタイト云フヲ考ヘ持ッテ居
リマスノデ、從來トハモウ少シ積極的ニ此
ノ問題ヲ扱ッテ參リタイト思ッテ居リマス、
唯新規ノ稅目デゴザイマスノデ、其ノ課稅
方法ガ不適正デアリ、又適當ナ稅種デゴザ
イマセスケレバ、許可ヲ致シ難イト思ヒマ
ス、其ノ邊ハ十分研究ノ上デ許可ヲ決定シ
タイト思ッテ居リマス

○伯爵橋本實斐君 只今ノ御説明デ了承致
シマシタガ、各市町村等ニ於キマシテ新タ
ナル稅目ヲ起スヤウナ場合ニ起キマシテハ、
ソレノ租稅ノ研究機關等ニ付議シテ、慎
重ニ檢討スルコトハ存ジマスガ、主務省
ニ於キマシテハ十分御監督ヲ戴キマシテ、
先程私ガ申シマシタヤウニ、彈力性ヲ逆用
スルコトノナイヤウニ十分御考慮ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

○政府委員(狹間茂君) 御述ニナリマシタ
所ハ十分方針ヲ決定シマス時ノ參考ト致シ
タイト思ヒマス、大體新規ノ稅目等ヲ起シ
マス時ニハ、從來ノ扱ヒ等ニ於キマシテモ
下打合セヲ致シマシテ、間違ノナイヤウニ
スルコトニ致シタイト思ッテ居リマス
○子爵岡部長景君 ちヨット、今ノニ關聯シ
テ伺ヒタイト思ヒマスノハ、此ノ市町村稅ノ
中ニ「獨立稅」、或ハ「目的稅」ノ中ニ「主務大
臣ノ許可ヲ受ケテ起シタル稅目」トアリマス
ガ、是ハドウ云フヤウナ稅目ガ一體豫想サ
レルモノデアリマスガ、餘リサウ云フコト
ヲ今カラ言ッテシマフト、却ッソレヲ獎勵

スルコトニナツテ面白クナイ、ト云フ御考ナ
ラバ強ヒテ伺ヒマセヌガ、若シモ豫想サレ
ルモノガアルノナラバ、却テ此ノ際適當ナ
モノヲ教ヘテ置イタ方宜イ、ト云フヤウ
ナ御考ガアツテ差支ナケレバ伺ヒタイと思
ヒマス

○政府委員(揆問茂君) 是ハ例ヘバ今申シ
マシタ土地増價稅トカ、或ハ閑地稅、廣告
稅ト云フヤウナモノガ豫想サレテ居ルノデ
ゴザイマスガ、只今ドウ云フ稅目ト云フコ
トヲ此處デ申上ゲルハキリトシタ觀念ハ
持ツテ居ナイノデゴザイマス

○子爵岡部長景君 現在アルモノハ、相當
各地方デ割合ニ多ク課稅サレテ居ルヤウナ
モノヲ、實例ヲ少シ伺フコトガ出來レ
バ……或ハ參考書類ノ中ニアリマスカ

○政府委員(揆問茂君) 差上ゲマシタ表デ
御覽戴キマス、此處ニ市町村ノ方デ現行
ノ地方稅一覽表ト云フモノガゴザイマス、
其ノ下ニゴザイマス「戶數割」ノ所ニ「其ノ
他」トシテ下ニ澤山掲ゲテゴザイマスガ、
斯ウ云フノガマア市町村稅トシテハ、今認
メテ居リマス稅目ノ大要デゴザイマス

○子爵岡部長景君 是モ矢張り相當斯ウ云
フヤウナ費目ノモノガ、新シク申請サレテ
來ルト云フコトモ豫想サレノデアリマス
ガ、大體ハ今度ノ稅制改正ニ依ツテ、斯ウ云
フモノハ一掃サレル御見込デセウカ、隨分
中ニハ細カイモノモ澤山アルヤウデアリマ
スガ……

○政府委員(揆問茂君) 此處ニ舉ゲテ居リ
マスモノハ大體認メル積リデゴザイマス
ガ、唯重複課稅ニナルヤウナ戶數割ト同ジ
ヤウナモノ等デ、認メナイモノガ二三アル
ト思ヒマス、例ヘバ法人所得稅、歩一稅、

口銀稅ト云フモノガゴザイマス、斯ウ云フ
風ナ重複課稅ニナルヤウナモノハ廢メサセ
マスガ、アトハ六體從來通り認メル積リデ
居リマス

○子爵岡部長景君 ソレデハ此ノ參考書類
ノ此ノ一番下ノ費目ダケヲ、速記録ニ載セ
テ戴イタラ如何デセウカ、今ノヤウナ御説
明ガアリマシタストルト、唯、今ノ御話ダ
ケダト速記録ニモ記録トシテ殘リマセヌカ
ラ……

○政府委員(揆問茂君) 只今御述ニナリマ
シタノハ、稅目トシテ認メル大體ノ種類デ
ゴザイマセウカ

○子爵岡部長景君 今御話ノ通り、今下ノ
モノハ大體認メラレテモ宜イト云フ御話デ
ゴザイマシタカラ、サウシマス我々ハ此
處ニ見テ居リマスカラ分リマスケレドモ、
速記録ダケ將來見タ場合ニハ、ドウ云フモ
ノガアツカト云フコトガ殘ツテ居リマセヌ
カラ、記録ニ殘ス意味ニ於テ之ヲ一ツ……

○政府委員(揆問茂君) 大體今迄認メテ居
リマスモノハ、將來モ認メル積リデゴザイ
マスガ、ソレデハ此處ニ稅目ノ主ナルモノ
ヲ申上ゲテ置キタイと思ヒマス、商品切手
發行稅、「タンク」稅、軌道稅、俱樂部稅、傭
人稅、製鐵業稅、瓦斯井戶稅、土地建物移轉
稅、坪數割、棧橋稅、石類稅、牛頭割、木
材輸出稅、森林伐採稅、移出稅、採藻稅位
ナモノガ、大體ノ許可課目ニナルグラウト
思ヒマス

○宇佐美勝夫君 府縣稅ノ獨立稅ハ、チヤ
ント決ツタ此ノ以外ニハ設ケルコトハ出來
マセヌカ

○政府委員(揆問茂君) 左様デゴザイマス
○宇佐美勝夫君 市町村ノ方ハ、許可ヲ得

テ設ケルコトガ出來ルノデスカ

○政府委員(揆問茂君) 其ノ通りデス
○宇佐美勝夫君 是ハ昔ト今トハ違フカ知
レマセヌガ、府縣稅ノ流木稅ト云ヒマスカ
稅稅ト云ヒマスガ、斯ウ云フモノハ、府縣
ニ依ツテ相當ノ收入ニナリ、又堤防保護ノ爲
ニモ相當ノ稅ヲ掛ケ得ラレルト思フノデス
ガ、是ハ町村トシテ掛ケル譯ニハイカナイ、
矢張り斯ウ云フモノハ府縣稅トシテ取ツタ方
ガ適當デアルヤウニ……、是ハドウ云フコ
トニナリマスカ

○政府委員(揆問茂君) 是ハ從來認メテ居ッ
タノデゴザイマスガ、最近臨時地方財政
補給金ノ制度デ、廢減稅ヲ致シマシタモノ
ノ中ニ、此ノ流木稅ヲ入レテ、今ハ廢シテ
居ルノデゴザイマスガ、色々ノ關係ニ於テ、
若シ之ヲ將來認メル必要ガゴザイマスレバ、
市町村稅ノ方ニ移シテ許可スルト云フコト
ニ致シタイと思ツテ居リマス

○宇佐美勝夫君 強ヒテデハアリマセヌガ、
流木稅、筏稅トシテハ、長イ河川ヲ流スモ
ノデスカラ、或町村ダケ取ルト云フ譯ニ
ハイカナイ、ドウシテモ縣トシテ徵收スル
必要ガアリハセヌカト考ヘマスカラ、チヨッ
ト其ノコトヲ申上ゲタ譯デアリマス

○政府委員(三好重夫君) 只今流木稅トシ
テ取ツテ居リマスノハ北海道ダケデゴザイマ
ス、是ハ考ヘ方ニ依リマシテハ、河川ノ改
修費等ニ絡ミマシテ適當ナ稅デアルトモ存
ゼラレルノデアリマスガ、何分ニモ負擔關
係ニ於キマシテハ、結局山林ノ所有者ニ轉
嫁セラレル傾向ガアル、斯ウ云フ風ニ見マ
シテ數年前廢止ヲサレテ、北海道ダケガ殘ッ
テ居ルノデゴザイマス、就キマシテハ、此
ノ河川關係ニ於テ認メルト云フコトヨリモ、

寧ロ町村ニ於キマシテ、山カラ伐リ出シマ
ス際ニ道路ヲ傷メルトカ、或ハ利用サセテ
貰フト云フヤウナ關係ガゴザイマスノデ、
一種ノ何ト申シマスガ、受益者ノ關係ヲ
見マシテ、其ノ方ダケヲ認メルコトニシタ
ラドウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘタノデゴザイ
マシテ、結局流木稅ト云フ此ノ川下シノ稅
トシテハ認メマセヌデ、市町村稅ニゴザイ
マスヤウニ、森林伐採稅或ハ木材移出稅ト
云ッタヤウナ形ノモノデ取ラセルコトニシタ
ラドウデアラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居
ル次第デゴザイマス

○柴田兵一君 新稅法ニ於ケル獨立稅ノ
中、ドノ稅ガ最も多イデセウカ、尙併セテ
各獨立稅ノ稅額ヲ示シテ戴キタイと思ヒマ
ス

○政府委員(揆問茂君) 今ノ御尋ハ、市町
村ダケデゴザイマスカ

○柴田兵一君 府縣稅デゴザイマス
○政府委員(揆問茂君) 今稅額ヲ調べマシ
テ後程申上ゲマス……只今ノ御尋ニ御答ヘ
致シマス、本稅ダケデ申シマス、府縣稅
ハ總額三千六百萬圓位ノ獨立稅ニナリマス
ガ、此ノ稅目ノ順序デ申シマス、是ハ見
込デゴザイマスガ、段別稅ガ十六萬八千圓、
ソレカラ船舶稅ガ二十二萬六千圓、自動車
稅ガ四百三十七萬六千圓、ソレカラ電柱稅
稅二千五百二十二萬七千圓、漁業權稅ガ九十萬
二千圓、狩獵稅ガ二十二萬一千圓、藝妓稅
ガ三百二十二萬一千圓、大體左様ナモノデ總
計三千六百萬五千圓程度ニナルト思ヒマス

○柴田兵一君 只今ノ稅額ノ中、此ノ中、
六大都市ダケ大體何割位ヲ占メテ居リマ
セウカ

○政府委員(狹間茂君) チョット今ノ所分
リ兼ネマスガ、調ガ付キマシタナラバ、明
日デモ御報告申上ゲマス

○子爵岡部長景君 今度改正ニナリマシタ
税制ガ實施サレタ曉ニハ、今後ハ一般國稅
カラノ交付金ト云フモノハ、全然考ガナク
ナル譯デゴザイマセウカ

○政府委員(狹間茂君) 今度ノ稅制改正ニ
於キマシテハ、從來ゴザイマシタ臨時地方
財政補給金モ、地方ノ歳入ノ中ニ加ヘマシ
テ、ソレデ總額十億三千二百萬圓ト云フモ
ノヲ出シテ居リマスノデ、今度ノ稅制ニハ
當然アノ金額ガ含マレテ居ルト云フコトニ
ナツテ居ルノデゴザイマス

○子爵岡部長景君 サウスルト、モウ交付
金モ今ノ……何ト言ヒマスカ、補給金モナ
クナル譯デスネ、今後ハ……

○政府委員(狹間茂君) アレハナクナリマ
シテ、從來、アレハ廢減稅ヲ主トシテヤツ
居タモノデゴザイマス、今度稅制ガスツカ
リ變リマシテ、斯ウ云フ新機構ニナリマス
ノデ、アレハ當然廢止サレマス、併シテ、
一億五千萬ト云フ計數ハ、今度ノ財政計
畫ノ中ニ當然地方ニ入ルモノトシテ、此ノ
歳入總額ガ決マレテ居リマスカラ、當然
包含ラシテ居ルト御考ヘ戴キタイト思フノ
デアリマス

○子爵岡部長景君 教育費ノ國庫負擔金
ハ、是ハマア一億圓ト云フモノガ殘リ譯デ
スネ

○政府委員(狹間茂君) 一億圓ハ府縣ノ負
擔デ、府縣費ノ方ヘ入リマシテ、ソレヲ支
辨スルト云フコトハ、當然ノ内容ト致シマ
シテ、府縣ニ對スル獨立財源、配付稅ト云
フモノガ計算ラサレテ居ル譯デアリマス

○子爵岡部長景君 ソレカラ從來モ或ハ同
様カモ知レマセマス、今度市町村民稅ト云
フヤウナモノモ出來、市町村、或ハ府縣ニ
於キマシテモ同様デアリマス、非常ニ稅ノ
負擔ガ、地方稅ノ負擔ト云フモノモハツキ
リシタ譯デスガ、從ッテ地方稅負擔ヲシタモ
ノハ、今後ノ地方機構ノ、地方制度ノ改正
セラレル場合ニ、地方選舉、其ノ他公民權
ノ上ニ於テ何等カ考慮サレル譯デアリマセ
ウカ知ラ、ソレ等ニ付テマダ何ニモ政府ノ
方針ハ決ッテ居ナイノデセウカ、從來ノ一級
選舉、二級選舉ト云フタモノヲ復活スルヤ
ウナコトモ、大分世間議論サレテ居ルヤ
ウデアリマス、其ノ可否ヲ言フ譯デモアリ
マセマス、其ノ點ニ付テ政府ハ何カ御考慮
サレテ居ルノデアリマス

○政府委員(狹間茂君) 地方制度ノ公民
權、或ハ市町村會議員、府縣會議員等ノ選
舉權ニ付キマシテハ、既ニ普通選舉ヲ施行致
シテ居リマスノデ、只今ノ所、政府トシテ
ハ此ノ選舉ノ權利ニ對シマシテハ、納稅ト
云フヤウナモノハ考慮スル方針ハ執ッテ居
ナイノデアリマス、唯今度ノ市町村民稅ト
云フノハ御存ジノ通り非常ニ普遍的ノ稅ニ
ナリマスノデ、恐ラク免稅ヲ受ケマス者ハ、
所謂「カールド」階級ニ屬スル者ダケデ、ア
トハ、額ノ相違ガアリマシテモ、全部ガ納稅
スルト云フコトニナルト思フノデアリマス

○子爵岡部長景君 丁度其ノ問題ニ付テ伺
ヒタイト思ッテ居タノデスガ、此ノ市町村
民稅ノ等級ト云フモノハ、ドウ云フ風ニシ
テ決メラレルモノデセウカ、或ハ御説明ガ
アツタカモ知レマセマス、アツタラバ速記録
デ見マスガ、マダナラバ御説明願ヒタイ

○政府委員(狹間茂君) 市町村民稅ノ課稅
ノ方法ハ、成ルベク自治ヲ尊重シテ、地方自
治體ガ自由ニ決定スルコトニ致シタイト思ッ
テ居リマス、是ハ團體ノ大小ニ依リマシテ、
採ルベキ課稅標準ト云フモノガ畫一的ニナ
シ得ナイ事情ガアルト思フノデアリマス、
ソレデ都市等ニ於キマシテハ、或ハ所得額
ト云フモノヲ課稅ノ基準ニ使フコトガアル
カト思ヒマス、又家屋ノ賃賃價格或ハ宅地
ノ賃賃價格ト云フモノモ、其ノ中ノ標準ノ
一ツニ加ヘテモ差支ナイカト思フノデアリ
マス、又土地ノ如キモノハ、純然タル見立
テ適當ニ課稅標準ガ決メラレマスレバ、
ソレデモ宜シイカト思ヒマス、ソレデ等級、
其ノ標準ニ依リマシテ等級、戶數等ヲ定メ
テ課稅ヲ致シテモ宜シイカト思フノデアリ
マシテ、是ハ法律、勅令等ニ於テ別ニ制限
ハ設ケマセズ、斯様ナ方法ガ執リ得ルデ
アラウト云フコトヲ、或ハ通牒等ニ依ッテ指
示ヲ致シマシテ、各團體ノ實情ニ應ジテ適
當ナ課稅ノ方法ヲ執ラセルコトニ致シタイ
ト考ヘテ居リマス

○子爵岡部長景君 サウスルト、ソレハモ
ウ全然自治的ニ決定サレルノデ、地方長官
ノ許可ナドモ必要トシタイト云フ今ノ御方
針デス

○政府委員(狹間茂君) 之ヲ規定致シマス
ノハ、市町村條例ニナリマス條例ハ監督官
廳ノ許可ヲ要スル譯デス

○政府委員(狹間茂君) 地租制、家屋稅制
等ハ、是ハ目的稅デアリマスカラ、全然別
ノ問題トシテ御考ヘ願ヒタイト思ヒマスガ
其ノ外此ノ土地、家屋、營業ニ對スル課稅
ノ問題ハ、今朝程モ、昨日モチョット申上
ゲタト存ジマスガ、是ハ今度ノ制度ニ於キ
マシテハ、財源トシテハ全部地方ノ財源ニ
ナツテ居リマス、併シ稅制ノ上ニ於キマシ
テ、稅額ノ四分ノ一ハ國デ徵收ヲ致シマシ
テ、サウシテ之ヲ地方ノ財源トシテ還付稅
ノ形ニ於テ道府縣ニ還付致シマス、ソレカ
ラ其ノ稅ヲ基礎ト致シマシテ、府縣、市町
村ガ附加稅ヲ賦課スルノデアリマス、デ府
縣トシマシテハ還付稅トソレカラ附加稅ト
ヲ合セマシテ、是等ノ稅ノ總額ノ半分ヲ道
府縣ノ財源ト致シマス、ソレカラ市町村ハ
附加稅トシテ百分ノ二百ヲ取リマシテ、即
チ府縣ト市町村トガ、丁度財源トシテハ是
等三稅ノ稅收入ヲ折半スルト云フコトニ致
シテ居ルノデアリマス、何故ニ斯様ニ還付
稅ト云フヤウナ形ヲ執ッタカト云フコトニ付
キマシテハ、是ハ從來論ジラレテ居リマシ
タ地租委讓等ノ關係モアル譯デアリマスガ、
形ニ於テハ地租、營業稅ハ國ニ委讓ヲ致シ
マセズ、一部國稅トシテ殘シタ譯デア
リマス、殘シマシタノハ、一ツノ理由ハ、
負擔ノ衡平ヲ期スルト云フコトデアリマ
シテ、現在ノ稅制ノ下ニ於キマシテ、家
屋稅ヲ見マス、此ノ賃賃價格ハ各府縣
別々ニ決定ヲ致シテ居リマス、從ッテ非
常ニ區々ニナツテ、同様ノ家屋デアツテ、而
モ賃賃價格ガ非常ニ相違シマス爲ニ負擔
ノ衡平ヲ期シ難イヤウナ情況ニナツテ
居リマス、斯様ナ情況ヲ更ニ地租ニ於テモ

繰返スト云フコトハ、更ニ土地負擔ノ不公
平ヲ來スコトニナリマスノデ、全部一應國
稅トシテ認メルト云フコトニナリマシテ、
賃賃價格ハ何レモ國稅決定ヲシテ負擔
ノ衡平ヲ期スルコトニシタ譯デアリマス、

是ガ第一ノ理由デアリマスガ、其ノ外ニモ
附隨ノ問題ト致シマシテハ、國ガ土地、
營業、家屋等ニ付テ、經濟政策上或ハ社會
政策上減免ヲ致スト云フヤウナ場合ニハ、
矢張り國稅トシテ一部分殘ッテ居ル方ガヤリ
易イノデ、地方ニ全部委シテハ是ガ實行困
難ニナリマスノデ、一部分國稅ニ殘シタ譯
デアリマス、殊ニ土地ニ付キマシテハ、國
土ニ對スル課稅ト云フ考モアリマシテ、稅
ノ沿革等カラ致シマシテモ、國稅ニ一部ハ
殘スコトガ必要デアアル、サウシマスルト、
收益稅ノ中デ地租ノミヲ殘スト云フ形ハ面
白クゴザイマセヌノデ、今回家屋稅モ國稅
ニ移シマシテ一部ハ國稅トシテ取リマシテ、
地方團體ハ之ニ對シテ附加稅ヲ賦課スル、
國稅トシテ取リマシタモノハ、還付稅トシ
テ地方團體ニ還元スルト云フ形式ヲ採ッ
タデアリマス

○子爵岡部長景君 ソコノ御苦心ナサツ
所ハ十分拜察シマスガ、チヨット是ハ國稅ノ
問題デアルカモ知レマセヌガ、地租ハ今申
シマシタヤウニ全部地方ニ還元サレハ譯デ
アリマスカラ、地租ノ賦課ノ一ツ、何ト云
ヒマスガ、標準ト云フモノヲ大體一ツ伺ヒ
タイト思ヒマス

○政府委員(狹間茂君) 地租法ハ、内容ト
シマシテハ從來ノ地租法ト全然同一デゴザ
イマシテ、唯課率カ從來三・八デゴザイマシ
タノデスガ、今度ハ百分ノ二ト云フコトニ
變ッテ居ルデアリマス、其ノ外ハ納期ガ變ッ

テ居ルサウデゴザイマスガ、若シ必要デゴ
ザイマスレバ大藏省ノ方カラ御答ヘ致シマ
ス

○子爵岡部長景君 イヤ別ニサウ専門的ニ
細カク伺フ必要モナイノデスガ、唯地方局長
トシテノ大體知識ヲ持ッテ居ラレルコトヲ伺
ヘバ結構デアリマシテ、從來實際地租ハ隨
分不公平デ、負擔ガ權衡ヲ失シテ居ッタト云
フコトガ言ハレテ居ルノデスガ、ソレハ詰
リ今迄ノ負擔ノ標準ノ決メ方ガ間違ッテ居
タカラ、自然サウ云フ風ナ、結果ガ不公平
ニナッテ來タンデヤナイカト思フノデスガ、
其ノ點ハ今度避ケ得ラレルノデセウカ知ラ、
都市或ハ地方ノ農村等ノ事情……

○政府委員(狹間茂君) 只今ノ仰セノ點ハ
從來地價主義ニ據ッテ居リマシタ時ニハ、サ
ウ云フノガゴザイマシタガ、課稅標準ヲ賃
賃價格ニ變ヘマシテ、賃賃價格ヲ全國的ニ
精密ニ審査決定致シテ居リマスノデ、其ノ
意味ニ於テノ負擔ノ衡平ハ十分保テルヤウ
ニナッテ居ルト思フデアリマス、唯今度ノ
改正ニ依ッテ、地租ト致シマシテハ、此ノ土
地ニ對スル負擔ハ相當輕減サレルコトニナッ
テ居リマス

○子爵岡部長景君 ソレカラハハ小サナ問
題デアリマスケレドモ、例ヘバ狩獵稅ノ如
キモノ、狩獵者稅デスカ、是ハ住居ノ所在
地ニ於テ徵稅スルコトニナッテ居ルサウデ
スガ、實際狩獵スル人ハ其ノ田舎ニ行ッテ鐵
砲ヲ打ッノデ、都會ニ住ンデ居ル人ガ東京
ノ街ノ中デ鐵砲ヲ打ッテ居ルンデヤナイノ
デスガ、東京府ヘ之ヲ納メテ、近所近縣ヲ
荒シ廻ッテ居ルト云フヤウナ風デハ、非常ニ
是ハ面白クナイ徵稅ノ何デハナイカト思ヒ
マスガ、ソレハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(狹間茂君) 是ハ狩獵ノ免許ヲ
受ケマスル人ニ對スル一ツノ人稅ノヤウナ
モノデゴザイマスノデ、其ノ鐵砲ヲ撃ツ處
ヨリモ、其ノ人ノ住所ノ所在地デ取ルト云
フ、マア一種ノ人稅トシテ考ヘテ居ルノデ
アリマス

○子爵岡部長景君 便宜上ソレノ方ガ宜イ
カモ知レマセヌガ、或ハモット小サナ市町村
稅ミタイナ風ニ、或ハ各道府縣毎ニ其ノ府
縣ダケノ、何カ許可證デモ出シテ税金ヲ取
ルト云フコトニデモシタ方ガ、實際的デハ
ナカラウカト云フヤウナ氣ガスルノデス
ネ、ア、云フ風ナモノハ相當各府縣デ收入
ニシテ宜イモノデハナカラウカ、隨分東京
アタリニハ鐵砲打ガ多勢居ルダラウト思ヒ
マス、ソレ等ノ人カラ東京デ以テ金ヲ取ル
ヨリモ、府縣ニ分ケテヤツタ方ガ宜イデハナ
イカト云フヤウナ氣ガスルノデス、便宜主
義カラ言ヘバ今ミタイナコトニナリマセウ
ガ、ソナナ例ガ外ニモアリハシナイカト思フ
ノデス、例ヘバ自動車ノ如キハ大體住ンデ
居ル所デ多ク使フノデスカラ、他府縣ニ行
クト云フコトハ、「トラック」ノ如キハ隨分他
府縣ニ行キマセウシ、其ノ他ノモノモ他府
縣ニ行ク場合モナイデハナイト思ヒマスガ、
チヨット氣ガ付キマセヌガ、他ニサウ云フコ
トハアリマスマイカ

○政府委員(狹間茂君) 府縣稅ト致シマシ
テハ、大體此ノ程度ノモノガ府縣のモノ
デアリ、府縣稅トシテ殘スノガ適當ナ限度
デアラウカト思フテ居リマス、御話ノ自動車
稅ノ如キハ、實ハ府縣稅デモ尙範圍ガ狹イ
位ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、他日別箇
ノ分與稅ト云フモノガ出來マス場合ニハ、
斯ウ云フモノガ財源ニナルノデハナイカト

考ヘテ居リマス、狩獵稅ハ稅額ト致シマシ
テモ極ク少額ナ稅デゴザイマシテ、現行ノ
程度デ差支ナイデヤナイカト考ヘテ居リマ
ス

○子爵岡部長景君 是ハチヨット問題ガ外
レルカモ知レマセヌガ、自動車稅ハ、最近
「ガソリン」ガ非常ニ節約デ、配給ガ窮屈ニ
ナッテ居リマスガ、税金ハナカ「ドン」
取立テラレテ、利用價值ハドン「制限サ
レルト云フノハ、稍「當ラ得テ居ナイヤウ
ニ思フノデスガ、ソレ等ニ付テハドウ云フ
風ナ御考デセウカ

○政府委員(狹間茂君) 「ガソリン」配給ノ
關係ハ御尤ト存ジマスガ、實ハ今度ノ稅制
改正ニ於キマシテハ、「ガソリン」稅ガ國稅
デ非常ニ増徴セラレマス、從ヒマシテ自動
車稅ハソレニ伴ッテ或程度輕減スル必要ガ
アルト思ヒマシテ、今度ノ稅制改正ニ依リ
マシテ、是ハ各府縣デ非常ニ高低ノ差ガゴ
ザイマスガ、高イ稅率ヲ以テ賦課シテ居リ
マス所ハ、約半額位迄輕減サセル積リデ居
リマス、全體ヲ見渡シマシテ二割程度ハ輕
減セラレルヤウニ自動車稅ハスル考デアリ
マス

○子爵岡部長景君 モウ一ツ伺ヒタイト思
ヒマスガ、是ハ分與稅ノ關係デアリマスガ、
此ノ市町村等ノ、或ハ道府縣ニシマシテモ
サウデアリマスガ、分與稅ノ配付稅ヲ色々
按配セラレル時ニ、其ノ時ノ財政狀態、負
擔力等モ矢張り考慮ノ中ニ入ル譯デアリマ
セウガ、從來其ノ町村ガ非常ナ努力ヲシテ
財政狀態ヲ建直シタト云フヤウナ驪ハシイ
結果ヲ擧ゲテ居ル所ハ、今日ハ相當力ガア
ル、出鱈目ナコトヲヤツテ居ッタ所ハ、非常
ナ財政モ窮乏シテ居ルト云フヤウナ今日ノ

實情ダケカラ見ルト、サウ云フ結果ニナッテ居リハシナイカト思フノデアリマス、サウスルト從來正直ニコツトヤッテ居タモノハ馬鹿ヲ見タ、出鱈目ナコトヲヤッテ居タ方ガ寧ろ斯ウ云フ際ニ得ガ行クト云フヤウナ結果ニナルコトハ、此ノ税制ヲ施行サレル精神ニモ副フ所以デハナイダラウト思フノデアリマスガ、ソコラ邊ニ付テハ矢張り從來ノ其ノ道府縣市町村等ノ努力ガ如何ニ拂ハレテ居ッタカト云フコトニ付テモ、相當考慮ヲ加ヘテヤルト云フコトガ必要デヤナカラウカト云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ付テハドウ云フ風ニ政府ハ御考デアリマスカ

○政府委員(扶間茂君) 經過のニハ、只今御述ニナリマシタヤウナ關係ガ起ルカモ知レマセスガ、此處ニハ分與税法ニ經過の措置ヲ講ズルコトニ致シテ居リマス、將來ノ問題ト致シマシテハ、財政上ノ必要ト課税率トニ應ジテ、十分ナ財源ヲ與ヘルコトニナッテ居リマスカラ、御述ニナリマシタヤウナ不均衡ナ狀態ハ起ッテ參ラナイト思ヒマス

○子爵岡部長景君 ドウカ政府ニ於テハ今後モ十分サウ云フ風ナ監督モ嚴重ニセラレテ、矢張り市町村等ニ於テモ、十分緊縮スベキモノハ緊縮ヲシテ、財政建直シラスヤウニ、十分指導シテ戴ク必要ガアルト思フノデアリマス、サウシテ矢張り私モ隨分地方ヲ方々此ノ頃歩イテ實情ヲ見マシタガ、良イ所ハ實ニドウモ涙グマシクヤッテ居ルノデ、サウ云フ所ハ確カニ結果モ非常ニ譽ッテ居ルノデアリマス、中ニハ隨分放漫ナコトヲヤッテ、借財バカリシテ苦ンデ居ルヤウナ所モアルヤウデゴザイマスガ、斯ウ云フ際

ニ一應ノ整理モ付ケテ戴クコトハ非常ニ結構ト思ヒマスガ、併シ今後ハ十分指導モシテ戴イテ、同時ニ良キモノハ、矢張り斯ウ云フ際ニハ之ヲ獎勵シテヤルト云フコトガ、將來ノ指導ノ上ニモ、非常ニ效果ガアルト思ヒマスカラ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(扶間茂君) 其ノ點ニ付キマシテハ、政府トシマシテモ十分注意ヲ致ス積リデゴザイマスカラ、此ノ制度ヲ實施スルニ伴ヒマシテ、先般御協賛ヲ戴キマシタ總豫算ノ中ニ、地方財政ノ監査ニ關スル機構ヲ充實スルコトニナッテ居リマス、是ハ本省ニモ相當ノ組織ヲ作リマスシ、地方廳ニモ必要ナ職員ヲ置キマシテ、常ニ市町村ヲ巡回致シマシテ、實際ノ此ノ行政ヲ監査シ、又財政經理ガ放漫ニ流レタリ、不正ガ起ッタルスルコトノナイヤウニ、一層監査ヲ嚴重ニ致シマシテ、此ノ分與税制度ノ運用ガ弊害ヲ來サナイヤウニ十分注意致ス積リデ居リマス

○伯爵黒木三次君 甚ダ小サイ問題デゴザイマスガ、今丁度岡部子爵ノ御話ニナッテ狩獵税ニ關シマスコトデアリマスガ、チヨット承リタイト思ヒマス、此ノ地方税ノ中ノ第四條ノ第二項ノ終リノ方ニ地方團體内ニ於テ一定ノ行爲ヲ爲スルコト云フコトガアリマスガ、ソレガイツノ例デゴザイマセウカ

○政府委員(扶間茂君) 此ノ一定ノ行爲ヲ爲スト云フノハ、例ヘバ不動産ヲ取得シマストカ云フヤウナ場合デゴザイマシテ、狩獵ノ免許ヲ受ケタ場合ニ、其ノ者ニ對シテ課税スルト云フコトトハ別デゴザイマシテ、此ノ中ニハ包含シテアリマセス

○伯爵黒木三次君 此ノ中ニ包含シテ居リ

マスノハ、今仰シヤイマシタ不動産取得税ト云フヤウナモノデゴザイマセウカ、其ノ例ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(扶間茂君) モウ只今起シテ居リマス雜種税、市町村特別税通ジテ見マシテ、今申上ゲマシタ、不動産取得税以外ハニ屠畜税デゴザイマス

○子爵裏松友光君 配付税ノ税種デスネ、所得税、法人税、入場税、遊興飲食税ノ一部ト云フ風ニ斯ウ云フ風ナ四ツノ税ヲ税種ニ御舉ゲニナッテ理由ハドウデゴザイマスカ

○政府委員(扶間茂君) 配付税ノ種類ト致シマシテハ、地方團體ノ財政ヲ強化スルト云フ意味カラ致シマシテ、成ルベク強い税種ヲ選ブコトガ必要デアルト思フンデアリマス、其ノ意味カラ申シマス、所得税、法人税等ハ極メテ伸長力ノ強い税デゴザイマシテ、其ノ自然増収ニ依ッテ地方團體ノ財政モ自然強化セラレルト云フコトニナリマスノデ、所得税、法人税等ヲ選ンダノデアリマス、ソレカラ遊興飲食税、入場税ニ付キマシテハ是モ亦相當強い税デゴザイマスガ、多少所得税等ト比ベマスト安定性ヲ缺イテ居ル點ガ憾ミガアル譯デアリマス、併シ國ノ財政ノ關係モゴザイマスノデ、之ヲ全部所得税、法人税ノミニ求メルト云フコトガ如何ナモノデアラウカト云フヤウナ考ヘカラ致シマシテ、其ノ極ク一部分デゴザイマスガ、約二割程度ハ遊興飲食税ニ求メタ譯デ、一部是等ノ税ハ從來地方税デアッタ關係モアリマスノデ、左様ナ意味デ此ノ種ノ税ヲ選擇致シタ譯デアリマス

○伯爵橋本實斐君 チヨット御伺ヒ致シマシタ、今回ノ地方税制ノ立テ方ニ依リマシ

テ、道府縣ノソレカラ市町村モ大體直接税及ビ間接税ニ依ッテ其ノ財源ヲ確保スル譯デアリマスガ、假ニ從來ノ例ニ取ッテ見マス

ト、先年關西ニ起リマシタ稀有ナ風水害トカ、或ハ昨年ノ夏起リマシタ中國地方ノ稀有ナ旱害等ニ依リマシテ、地方自治團體ニ非常ナ出費ヲ生ズルヤウナ事態ガ生ジマシタ場合ニモ、今回ノ税制ノ立テ方ニ依リマスレバ、別ニ臨時ノ巨額ナ起債ヲシナクトモ、其ノ財政臨時ノ財政ヲ賄フコトガ出來ルモノデゴザイマセウカ、其ノ點ハ矢張り、臨時ノ起債ヲシナケレバ賄ヒ得ナイモノデゴザイマセウカ、甚ダ素人メイタ質問デゴザイマスガチヨット心配デゴザイマスカラ

○政府委員(扶間茂君) 此ノ税ノ立前ハ大體普通ノ狀態ニ於テノ各地方團體ノ財政計畫ト云フコトヲ目標トシテ立テテ居ルノデゴザイマス、併シ御覽ノ通りニ第一種配付額ト云フノハ課税力ヲ標準トシテ矢張り配付スルコトニナッテ居リマスカラ、災害等ガゴザイマスト自然例ヘバ旱害ガアレバ地租ガ入リマセスシ、火災ガアルト家屋税ガ入ラナイシ、營業税ガ非常ニ少額ニナルト云フヤウナコトデ、サウシマスト單位税額ガ下リマスカラ、自然ソレヲ補填スルヤウニ第一種ノ配付額ガ増額シテ參リマス、斯ウ云フノデ災害ガアリマシタ場合ニハ自然配付税ガソレヲ補充スルヤウナ働キヲスルコトニナルノデアリマスガ、是ハ大體豫想シ得ル普通程度ノ災害ノ場合ガアルト思ヒマス、從ッテ大キナ災害ガ起ッタ場合ニハ、其ノ府縣ノ財政ヲ救済スル爲ニハ、此ノ制度デケデハ十分デアルト思ヒマス、御述ベニナリマシタヤウナ、關西ノ大風水害デアリマス

ヤウナ問題ガ起リマシタ場合ニハ、或ハ特別ノ立法ト云フコトモ必要デアルト思ヒマス、又特殊ノ財政援助ノ手段ヲ講ズル必要モアルト思ヒマス、一例ヲ申上ゲマス、此ノ法ヲ御審議願フテ居リマス際デアリマスガ、静岡ニ非常ナ火災ガアリマシテ、静岡市ノ財政状態ヲ考ヘマス、此ノ配付稅ダケヲ以テハ到底救済シ得ナイト思ヒマスカラ、特別ノ意味ニ於キマシテ、市ノ起債額ニ對シテ其ノ利子補給ヲスルト云フ建前デ、追加豫算ヲ御審議ヲ御願ヒシテ居ルヤウナ譯デゴザイマス

○伯爵橋本實斐君 了解致シマシタ
○子爵岡部長景君 大體ニ於テ極ク今度大マカニ言ッテ、府縣ノ中デ今度ノ稅制整理ニ依ッテ宜クナル方ト、前ヨリハ寧ロ歲入額ノ減ル方ト稍、著シイ所ヲ數縣ヅツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(狹間茂君) 是ハ全體ノ縣ニ付テ當ッテ見ナケレバナリマセスガ、十三年度ノ稅ノ測定額ヲ基準トシテ考ヘマス、何レモ相當ノ是デ增收ニナルコトニナッテ居リマス、併シ自然增收ノ問題ガゴザイマスカラ、是ハ各府縣ニ付キマシテ、ソレヲ自然增收ヲ加味シテ考ヘマス、或ハ從來ノ制度ノ方ガ稅收入ノ高額ニナル所モアル譯デアリマスガ、併シ十三年度ヲ基準トシテ考ヘマスレバ、總テノ團體ガ相當ノ增收ヲ得ルト云フコトニナルドラウト思ヒマス

○子爵岡部長景君 東北六縣アタリノ東北振興事業、アレハ無論之ニ關係ナク振興サレル譯デスネ

○政府委員(狹間茂君) 左様デゴザイマス、別段分與稅制度ニハ關係ヲ持チマセス
○子爵岡部長景君 中デ特ニ此ノ稅制改革

ニ依ッテ結果ガ良クナル所ハ、ドノ邊ガ一番大キイデセウカ、工合ノ好クナル所トシテハ

○政府委員(狹間茂君) 一口ニ申シマス、三收益稅ノ上ガリ高ノ少イ所、詰リ財政力ノ貧弱ナ縣ニハ、從來ヨリモズツ多クノ財源ガ與ヘラレルト云フ、簡單ニ申シマス、結果ニナル譯デアリマス、從ッテ例ヘバ東北地方、鳥取縣、高知縣、沖繩縣ト云フヤウナ所ハ、餘程財政ガ樂ニナッテ來ルト考ヘマス

○中川望君 先刻ノ橋本伯ノ御質問ニ關聯シテ居ルノデゴザイマスガ、只今ノ御話ガ出マシタ非常災害ガアツテ、地租ノ免除ト云フヤウナコトガ行ハレマスルト云フト、場合ニ依ッテハ全然取レナイカラ非常ニ困ル場合ガ生ジマスガ、ソレハ別段何モ規定ナシニ、唯還付稅ガ少クナルカラ配付稅ノ方デ補ハレ、斯ウ云フ結果ニナルダケデゴザイマシテ、免稅ニシタ時ニハドウスルト云フ規定ハ別段ナイノデゴザイマス

○政府委員(狹間茂君) 地租ガ免除ニナリマシタ場合ニ、此ノ法律ノ對策ハゴザイマセス、結局地租ガ免除ニナリマス、單位稅額ト云フモノガ「ゼロ」ニナリマスカラ、配付稅ガソレダケ多額ニ分與セラレルト云フ結果デ、財政ノ補填ガ出來ララウト考ヘテ居リマス

○青木周三君 今橋本君ノ質問ニ對シテ、例ヘバ静岡ノ大火ノ如キ場合ニ於テハ特別ノ立法ヲ考ヘテ、例ヘバ利子補給ノ如キモノヲ認メル特別立法ヲアル場合ガアルト言ハレタデスガ、例ヘバ私共ガ其ノ衝ニ當ッテ居ル横濱市ノ如キモ、先年非常ナ大震災デ殆ド全市ガ焼ケタヤウナ場合ガアツテ、其

ノ爲ニ今非常ニ窮ッテ居ルノデスガ、ソレニ對シテ静岡市ト同一ナル何カ特別ナ立法デモ考ヘテオイデニナリマス

○政府委員(狹間茂君) 是ハ私モ十分記憶ガナイノデゴザイマスガ、關東震災ノ當時ニ於キマシテハ、特ニ復興院ガ出來、復興局ニナリ、國トシテ復興事業ノ執行ヲ致シマス、或ハ公共團體ガ執行シマスモノニ付テハ國ガ特別ノ補助ヲ與ヘルト云フヤウナ方法デ、復興ヲ致シタノデナイカト思ッテ居ルノデアリマスガ、尙横濱市ノ將來ノ財政ガ非常ニ困難デアルト云フコトニ付キマシテハ、色々貸附金ノ處理ニ付キマシテハ特別ノ委員會デ考究ヲ致シマス、適宜ノ措置ヲ講ジテ參ッテ居ルノデアリマス、今回稅制改正ヲ取上ゲテチヨット横濱市ノ財政關係ヲ申上ゲマス、横濱市ニ付キマシテハ、先刻差上ゲマシタ表デ見マス、改正前即チ現行制度ニ依リマスレバ、横濱市ノ稅額ハ五百四十八萬五千圓トナルデアリマスガ、改正後ノ稅額ニ依リマス、附加稅ト特別稅ガ既ニ七百十二萬三千圓モアリマシテ、配付稅ガ百四十八萬一千圓入リマス、八百六十萬四千圓ト云フ稅收入ニ相成リマス、從ヒマシテ改正前ノ稅收入ト之ヲ比較シマス、十三年年度ガ基準デゴザイマスガ、三百十一萬九千圓ト云フ稅收入ノ増額ヲ見ルト云フコトニナル譯デアリマス、此ノ外都市計畫稅ガ今度府縣カラ半額以上入リマス關係デ、横濱市ニ於キマシテハ少クトモ八十萬圓程度ノ都市計畫稅ガ増加シ得ル見込デアリマス、然ルニ一面小學教員俸給ガ漸次増加致シマス、趨勢ニアツテ、横濱市ダケデ見マシテモ二十萬圓以上毎年増加シテ居リマス、是ガ府縣ニ肩替リ

サレルコトニナリマス、將來ノ横濱市ノ財政計畫トシテハ、著シク餘裕ガ生ジテ來ルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙序ニ只今申上ゲマシタノハ全部今度ノ各稅ガ標準率課稅致シマシタ場合、昔ノ言葉デ申シマス、制限内ノ課稅ヲ致シタ場合ノ稅收入ノ見込デアリマス、假ニ此ノ横濱市ニ現行法ノ制限率課稅ヲスルト致シテ考ヘマス、今ハ相當制限外課稅ガゴザイマスガ、制限率參リマスレバ、三百八十五萬三千圓ノ稅收入ヲ得ルニ過ギナイノデアリマス、今回ノ改正ニ依リマシテノ稅收入ハ制限率ト申シマス、標準率デ附加稅ヲ取ルト致シマシテ、先程申シマシタヤウニ八百六十萬四千圓ト云フ稅收入ニナリマス、大都市中デ申シマス、横濱市ノ如キハ今度ノ稅制改正ニ依リマシテ最モ著シク財政力ヲ強化セラレルト云フ結果ニナルヤウニ考ヘマス

○青木周三君 茲ニ頂戴致シマシタモノハ夫々取調ベテ居リマス、クレドモ、私共ノ計算デハ斯ウハナラナイノデ、此ノ點ハ未ダ分リマセヌノデ、何レ詳シク伺ヒタイト思ッテ居リマスガ、大體今度ノ稅制ニ關シテ災害ニ對スル考慮ガ、災害ニ依ル市債ニ對スル救済制度ノ考慮ガ人口七十萬以上ノ都市、即チ六大都市ニハ考慮サレテ居ラナイ、府縣ニ對シテハ災害ノ土木費ニ對スル考慮ガ拂ハレテ、配付稅ノ中ニ加ハッテ居ル、ソレカラ都市町村ニ對シテハ矢張り或種ノ特別ナ事情ヲ考慮シテ配付スルコトガ出來ルヤウニナッテ居ルガ、六大都市ニ對シテハソレガナイノデスガ、併シ一方カラ考ヘマス、災害ノ如キハ六大都市デアラウガ、町デアラウガ構ハズ見舞ッテ來ルノデアリマシテ、

例へば震災ノ如キトカ、或ハ神戸ノ風水害ノ如キトカ、或ハ大阪ノ風水害ノ如キト云フヤウナモノガアリマス。ト云フ、其ノ費用ハ實ニ莫大ナモノデアッデ、是ハ何等カノ税制ノ整理ノ際ニ考慮セラレベキモノデアルト云ッデ、我々ハ屢々衆議院ノ人ヲ頼ンデ質問シテ戴キマシタノデスガ、ソレニ對シテ政府デハ、例へば道家齊一郎君ノ質問ニ對シテ、府縣ノ災害土木費ハ非常ニ大キナモノデアルガ、都市ノ分ハソレニ比較シテ非常ニ少イ、ソレカラ縣ノ場合ハ自分ノ所デ十分審査スルカラ、之ヲ標準ニ取ッテ、配付税ノ標準トスルコトガ出來ルケレドモ、市ノ場合トカ、町ノ場合トカト云フ場合ニハソレガ多分ニ、復興ノ色彩ヲ帶ビテ居ルノデアッデ、復興ノミト見ルコトガ出來ナイカラ、ソレデハ一ツモ認メナカッタノデアルト、斯ウ云フ御話デアリマスガ、成程總テ災害ヲ復舊スル場合ニハ多少ノ進歩ハソレハ已ムヲ得ナイ、免レナイコトデアリマス、併シ縣ト雖モ多少ノ、前ニ架ケタ橋ヨリ強ク橋ヲ架ケルト云フコトモアリマセウシ、又市町村ニ於テモサウ云フ風ニナルコトハ已ムヲ得ナイ、若シ其ノ災害ノ復舊ノミヲ認メルトデアッデ、復興ノ場合ハ是ハ認メナイノデアルト云フコトナラバ的確ナ割引ガ出來ナクテモ、相當ノ割引ヲスレバ其ノ標準ハ出來得ルモノダト私共考ヘルノデアッデ、政府ノ御考ノ所ガ十分ニ私共ニ徹底シナイノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ何カモツト詳シイ御説明ガ戴ケルナラバ、伺フト都合ガ宜イト思ヒマス

○政府委員(坂間茂君) 災害土木費ヲ配布税ノ算定ノ基準ニ加ヘルコトニ付キマシテハ、只今青木サンヨリ仰セニナリマシタ通りノ考ヘヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、配付税ノ配布ノ標準ト致シマス爲メニハ、其ノ範圍ガ公平ナモノデアリ、且ツ明確ナモノデナイトチヨット困ルノデ、道府縣ノ方ハ、是ハ嚴格ナル査定ヲ致シマシテ、サウシテ勅令ノ規定ニ依ッテ一定ノ補助ヲ致シマス、斯ウ云フヤウナ極メテ明確ナモノデアリマシ、其ノ基準ト云フモノハ全國ニ共通デゴザイマスカラ、之ヲ配布税ノ算定ノ基準ニ用ヒマスケレドモ、市町村ノ災害費ニナリマス、是ハ道府縣ノ自由意思ニ依リマシテ適當ニ補助ヲ致スモノデアリマスカラ、其ノ範圍ガドウシテモ明確デゴザイマセヌノデ、各府縣區々ニナル虞ガゴザイマスカラ、配布税ヲ配布スル標準トシテ之ヲ用ヒルト云フコトハ、其ノ結果地域的ニ均衡ヲ失スル虞ガアリマス、又仰セノ通り、特ニ都市ノ復舊事業ハ、大體ニ於テ復興事業ガ相當ノ部分ヲ占メテ居リマスノデ、其ノ中ノ幾分ヲ控除スルト云フコトニナリマシテモ、結局明確ナル標準ヲ得難イト、思フノデアリマス、斯ウ云フ關係カラ致シマシテ、此ノ市町村ニ付キマシテハ、災害債ト云フモノハ配布税配付ノ基準ニ加ヘナカッタノデアリマス、一面災害債ノ額カラ申シマシテモ、道府縣ハ二億四、五千萬圓ト云フ多額ニ上ボツテ居マリスシ、市町村ハソレニ對シテ餘程少額デア、之ヲ稅收入ノ總額ニ比較シテ見マスト、府縣ハ其ノ七割以上ニモナツテ居マリスガ、市町村ハ一割五六分ト云フヤウナ風ニ、率ガ非常ニ違ッテ居ル關係モアリマシテ、府縣ニ付テハ是非トモ之ヲ考慮ニ入レル必要ガアルト考ヘルノデアリマス、ソレカラ大都市市及ビ町村トノ間ノ取扱ヒヲ異ニ致シテ居リマスガ、市町

村ニ付テ認メマシタ三種配布額ト云フモノハ百分ノ五デゴザイマシテ、全國ヲ通ジテ大體四、五百萬圓程度ノモノト思ヒマス、是ハ特ニ災害債ノ之ニ依ッテ考慮スルト云フノデハナイノデアリマシテ、例へば人口ガ非常ニ寡少ナ町村ニ於テ財政需要ガ多イト云フヤウナ時ニ特別ノ考慮ヲスルトカ、或ハ人口ニ非常ニ激増ガアリマシタ時トカ、色々ノ問題ガアルノデアリマス、從ッテ災害ノ問題ニ付テ考慮サレル範圍ト云フモノハ、此ノ方面ニ於テハ左程重イヤウニ考ヘテ居ナイノデアリマス、大都市ニ付キマシテハ、特ニサウ云フ復興ノ色彩モ濃厚デアリマスカラ、第三種配布額ト云フモノハ之ヲ設ケナカッタノデアリマス

○青木周三君 政府ノ言ハレル所ハ了解致シマシタガ、併シマア此ノ神戸ニモアリマシタシ、大阪ニモアリマシタガ、横濱ノ例シカ十分ニ存ジテ居リマセヌガ、横濱ノ如キハ府縣ノ災害土木費ノ補助ノ如キトハ違フテ、復興院ヲ設ケテ、サウシテ國家ガ特別ナ立法ヲシテ、サウシテハ災害ノ復舊デアルトカ云フコトモハッキリ分ッテ居ルノデアリマシテ、若シ相當ナ割引ヲスレバ出來得ルコトダト私共ハ考ヘル、デ復興ガ其ノ中ニ含ンデ居ルカラ、災害ノコトハ認メナイト云フコトハ頗ル理由ニ乏シイト思フノデス、私ハ議論スルノデヤアリマセヌガ、凡ソ復興ガ七分アッテ復舊ガ三分アルトスレバ、七割ヲ割引スレバ宜カラウト思フ、ソレ等ハ政府ニ御任セシテ然ルベキコトデアルト考ヘテ居ルノデスガ、立法ノ出來ナイコトハ私ハナイト思フ、殊ニ横濱ノ如キハ政府カラ金ヲ借りテ復興ヲシツ、アツタ際ニ、ソレヲ政府ノ勸メニ依ッテ外債ニ替ヘテ、サウシテ外債ヲ募ッタ、外債ニ依ッテ得タ所ノ金ノ中カラ政府ガ貸シタ金ハ天引シテ取ラレテ、サウシテ其ノ殘リヲ復興ノ資金ニ充テ、居ツタ、處ガソレガ又政府ノ方針ニ依ッテ金ノ輸出ノ解禁ト云フコトニ依ッテ、非常ニ其ノ率ガ下ッテ來テ、爲替ノ率ガ半分ニナリ、今デハ三分一ニナリツ、アルト云フヤウナ事態デ、茲ニ舉ガラレタ將來ノ財政ガ樂ニナルト言ハレテ居ル、三百萬圓バカリノ増收ヲ以テシテハ、現ニ支拂ヲシツ、アル、其ノ支拂ヲスル爲ニ借金ヲシツ、アル額ヲ補フコトガ出來ナイヤウナ次第ナンド、此ノ通りニ取レルカ取レルカスラ分ラナイ、ソレヲ以テスラ補フコトガ出來ナイヤウナ状態ニアルノデアリマス、ソナラ横濱ノ課稅力ガ無イカト云フト、決シテ横濱ノ市民ノ課稅力ト云フモノハ六大都市ノ中ノ中位ニ位シテ居ルト思フ位アルノデアリマスガ、現ニ困ッテ居ルノハ其ノ爲替差損ト、利子ガ六分ニナツテ居ルヤツ、ソレノ訂正ガ出來ナイト云フヤウナ爲ニ、三百萬圓ノ増收ヲ以テスラ補フコトガ出來ナイト云フヤウナ状態ニナツテ居ル、是ハ實ハ災害デア、國家ガ認メタ災害デアッテ、ソレハ全ク横濱ガ自ラ好シテ招イタ災害デモナクテ、又ソレガ自ラ招イタ負擔デハナイノデアリマシテ、國家ガソレ程ニ斯ウ云フ場合ニ於ケル已ムヲ得ナイ施設デア、アルカラシテ、ソレダケノ負擔ヲスルヨリ外ニ仕方ガナイデヤナイカト云フコトヲ國家スラ認メテ居ルノニ、サウ云フモノニ對スル何等カノ方法ガナイト云フノハ、私ハ今度ノ稅制ノ整理ニ付テ、實ハ考ヘ落シヲセラレタノデヤナイカト思フ位デア、先程靜岡ニ對シテ或ハ特別ノ立法デ利子ノ補給トカ云フヤウナ、特別ナ立法ヲ

スルヤウナコトヲ考慮セラレナラバ、是非ハ非常ナ結構ナコトダト思フノデアリマス、横濱ノ此ノ災害及ビ災害ニ依ル負擔ニ對シテト云フモノハ或ハ此ノ分與稅ノ性質デハ補ヒ切レナイカモ知レマセヌガ併シナガラ何等カ救済ノ方法ヲ講ゼラレル必要ガアルモノデハナイカト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付テ政府ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(扶間茂君) 先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ稅制改正ハ普通ノ狀態ヲ基礎トシテ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ普通ノ狀態デ見マスト是ハ或ハ御意見ガアルカモ知レマセヌガ、我々ノ調デハ横濱ハ此ノヤウニ非常ナ増收ノ見込デアリマス、併シナガラ只今御述ニナリマシタ震災關係ノ貸付金ノ處理ノ問題ハ、是ハ我々モ横濱市ニ對シテハ非常ニ御氣ノ毒ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ丁度静岡市ニ對スル特別ノ利子補給ヲ考慮致シマシタ如ク、別箇ノ問題トシテ此ノ問題ハ考慮ヲ進メテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、ソレニハ既ニ政府ニ貸付金ノ處理ノ委員會ガゴザイマシテ、先般モ一應ノ決定ヲ見タノデアリマスガ、アレハ暫定的ノ決定デアリマシテ、其ノ後ノ財政狀況等ヲ見テ、更ニ根本的ノ案ヲ立テナケレバナラナイト思ッテ居ルノデアリマスガ、此ノ方面ニ於テ只今御述ベニナリマシタ問題ヲ解決スルヤウニ努力スベキモタデナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○青木周三君 詳細ナ説明ヲ承リマシテ了解致シマシタ、ドウゾ特別ノ方法ヲ御考究アラムコトヲ偏ニ希望致シマス

○委員長(子爵前田利定君) 此ノ際皆様ニ御諮リ致シマスガ、今日ハ此ノ程度デ會ヲ閉

カ
デタイト思ヒマスガ、御異議ゴザイマセヌ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ナイモノト認メマス、明日ハ午前十時ヨリ會議ヲ續行致シマス、今日ハ是デ散會致シマス
午後三時五十二分散會
出席者左ノ如シ

委員長 子爵前田 利定君
副委員長 男爵紀 俊秀君
委員

公爵一條 實孝君
侯爵中御門經恭君
侯爵池田 宣政君
伯爵黒木 三次君
伯爵橋本 實斐君
子爵岡部 長景君
子爵伊東二郎丸君
子爵裏松 友光君
子爵松平 康春君
宇佐美勝夫君
白根 竹介君
堀切善次郎君
男爵松平外與麿君
男爵中御門經民君
男爵杉溪 由言君
中州 望君
青木 周三君
松村 義一君
堀 啓次郎君
下出 民義君
塩田 圓平君
上野松次郎君
諸橋久太郎君
柴田兵一郎君

國務大臣
內務大臣 伯爵兒玉 秀雄君
政府委員
內務參與官 青山 憲三君
內務省地方局長 挾間 茂君
內務書記長 三好 重夫君